

第6章

歴史文化の特徴と関連文化財群

～歴史文化の特徴が紡ぐストーリーを楽しもう～

- ・ 呉市の自然環境と人々の関わりに着目し、呉市の歴史文化の特徴として以下に整理します。
 - ① 歴史文化を育む険しく豊かな自然
～瀬戸内海に開かれた海・山とともに形成された呉～
 - ② 海とともにある暮らし
～海を恵みと捉え、狭小な浦々を生活の場として形成された呉～
 - ③ 瀬戸内海航路の結節点
～海を道と捉え、連なる島々を中心に結節点として形成された呉～
 - ④ 海軍の軍事拠点
～内海と島、そして山が織りなす地形を活かし軍事拠点として形成された呉～
- ・ 歴史文化の特徴をもとに、保存・活用のためのストーリー（関連文化財群）を下記の通り設定しました。
 - ① 海と島と山が織りなす絶景
 - ②-1 海の恵みを求め根付いた原始の営み
 - ②-2 山野河海を拓き獲得してきた大地の恵み
 - ②-3 海に祈る多彩な信仰と地域に根付いた暮らし
 - ③-1 戦国の争乱により形成された海賊衆の拠点
 - ③-2 海の往来とともに栄えた産業と町並み
 - ④ 鎮守府の開庁により近代都市へと変貌を遂げた呉湾
- ・ 上記のストーリー（関連文化財群）ごとに、令和6（2024）～12（2030）年度に取り組む措置として、合計35の事業を設定しました。
- ・ それぞれの事業は、取組主体、実施期間を記載しており、進捗管理を行っていきます。

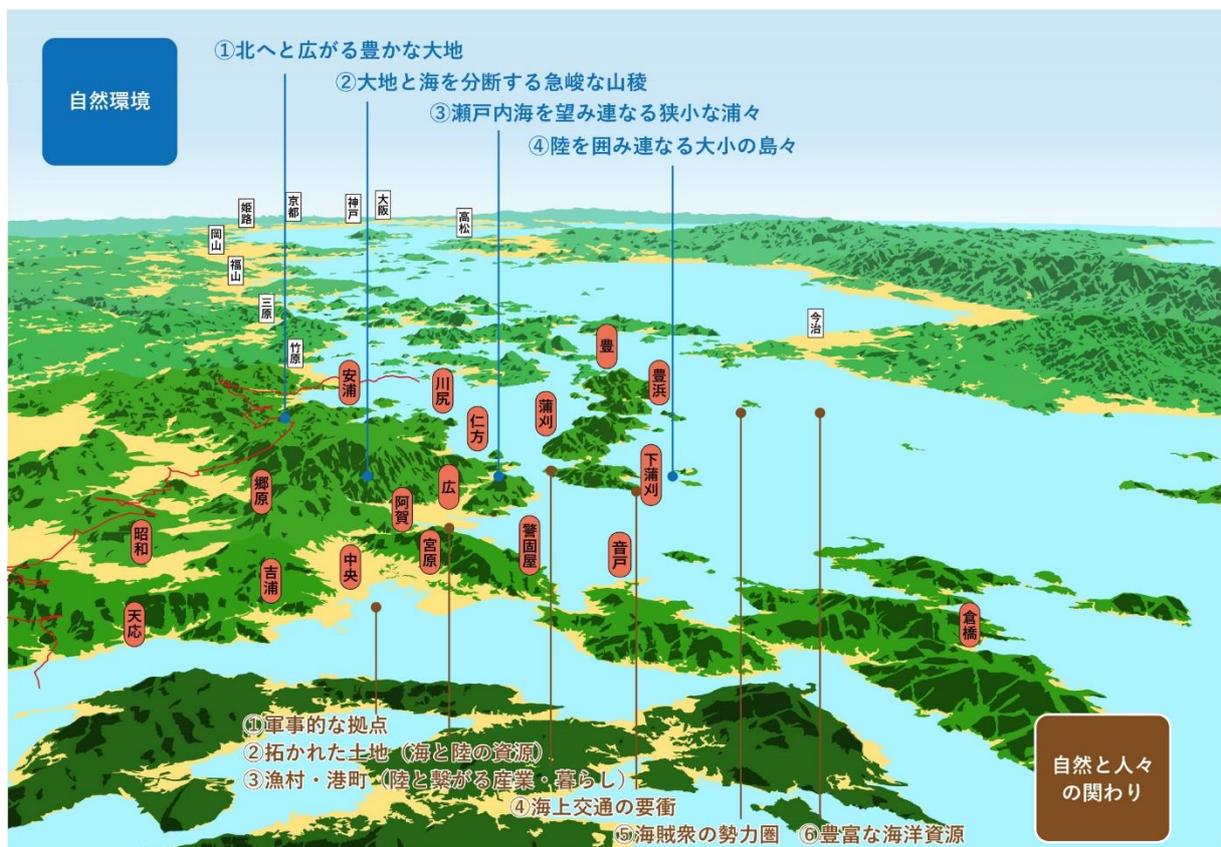
1 呉市の歴史文化の特徴

呉市における人々の営みは、古くから瀬戸内海と密接な関わりを持っており、その特徴を捉えることができます。

呉市は、内陸部と沿岸部、島しょ部からなり、瀬戸内海に臨み、平坦地は少なく、山地が迫り、大小の河川が流れるなど、険しくも豊かな自然環境を有しています。長い歴史の中で、この特徴的な自然環境を土壌として、多様な地域性を活かした暮らしや生業が築かれ、それらに結びつく信仰や祭礼として、多様な民俗文化が育まれてきました。

瀬戸内海は、古代より国内外をつなぐ航路であり、争乱の舞台としての歴史も有しています。海に面して、船の往来とともに港町や集落が形成され、造船等の産業も発展しました。明治時代には鎮守府の開庁とともに、軍港や呉海軍工廠が設置され、その技術は現在の産業へと引き継がれており、海と関わりながら発展してきた歴史を見ることができます。

呉市の自然環境および、自然環境の中でもとりわけ瀬戸内海と人々の関わりに着目し、歴史文化の特徴を以下に整理します。



呉市の歴史文化のイメージ

歴史文化の特徴 ① 歴史文化を育む険しく豊かな自然

～瀬戸内に開かれた海・山とともに形成された呉～

呉市域では、北に広がる内陸部から流れる河川は、沿岸部の急峻な地形により滝や溪谷を形成しています。沿岸部では海岸線に迫るように山々が連なり、その裾野に形成された海を臨む狭小な平野部は、海や山の資源に恵まれ、人々の生活の場として発展してきました。

また、瀬戸内海には大小の島々が陸を囲むように連なっており、特徴ある植生や生態系が形成され、独自の文化や特色ある産業を育む土壌となりました。

海、山、島などの多彩な自然環境や風光明媚な景観には、険しく豊かな自然が育んだ歴史文化をみることができます。

歴史文化の特徴 ② 海とともにある暮らし

～海を恵みと捉え、狭小な浦々を生活の場として形成された呉～

呉市域では、先史時代より、瀬戸内海の豊富な海洋資源を土壌として人々の営みの場が形成され、製塩などの生産活動も行われてきました。また、地形的な特徴から海上交通の要衝となり、祭祀などの特徴的な文化が形成されました。

近世以降、沿岸部や島しょ部では営みの場を広げ、より豊かな資源を獲得するため、新開や港湾施設、灌漑施設の整備が進められ、今日まで続く特徴的な景観を形成し、生活の基盤となっています。

また、海の恵みを活かし、生業の場とする人々の暮らしは、海や船に関連する信仰や祭礼、習俗など特徴的な民俗文化を育みました。

海の恵みを活かした生活の痕跡や、そこで育まれた民俗文化からは、海とともにある暮らしの歴史文化をみることができます。

歴史文化の特徴 ③ 瀬戸内海航路の結節点

～海を道と捉え、連なる島々を中心に結節点として形成された呉～

呉市域の島しょ部は、古代から海上交通の要衝として発展する中で、中世には海域を勢力基盤とする海賊衆の拠点となりました。

海に面する急峻な地形を活かして山城が築城され、大内水軍の中核として活躍した三ヶ島衆をはじめとする地域内外の勢力争いの舞台となりました。

近世になると、瀬戸内海航路に広がる呉市域の島しょ部は、海上交通の要衝としてますます重要視されるようになり、広島藩の海駅として整備された三之瀬や、風待ち・潮待ちの港として発展した御手洗には本陣や茶屋、雁木などが整備されました。

また、島しょ部や沿岸部の様々な地域においても、造船業や製網業などの地場産業も最盛期を迎え、現在にその技術が伝えられています。

中世に築かれた山城跡や近世の隆盛を物語る町並み、現在に残される伝統技術からは、瀬戸内海航路の結節点としての歴史文化をみることができます。

歴史文化の特徴 ④ 海軍の軍事拠点

～内海と島、そして山が織りなす地形を活かし軍事拠点として形成された呉～

呉の歴史文化の最も大きな特徴は、全国的に誇れる歴史や文化財が近代に集中していることです。それは、明治18（1885）年に約1万5,000人に過ぎなかった人口が、昭和19（1944）年には40万人を超えた点に端的に現れています。その原動力となったのは、海軍の進出と発展でした。

三方を山に囲まれ、海の全面に島が横たわり、海峡は狭く防御に最適なこと、工場や市街地としても申し分ないことから、明治22（1889）年に呉鎮守府が設置され、海軍のまちとして発展していきます。

兵器だけでなく、民生用にも転換された技術も多く、海外からの技術の習得、工場内における教育などとともに伝えられるべき歴史文化です。さらに、軍港都市としての市街地の形成、産業、生活文化など、現在の呉市の市街地の基盤を形成し、現在までつながります。

呉鎮守府の設置がもたらした都市の形成と発展からは、海軍の軍事拠点としての歴史文化をみることができます。

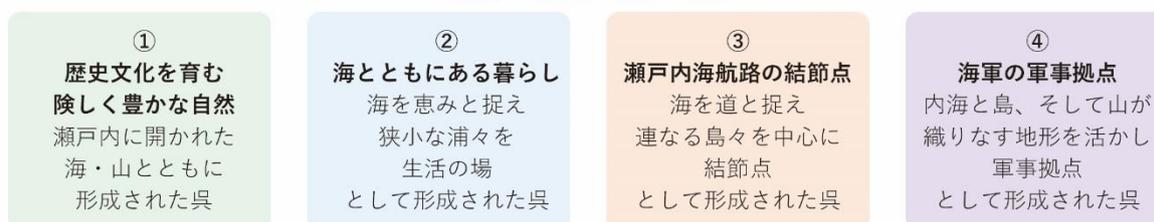
2 歴史文化の特徴と関連文化財群の設定

呉市の歴史文化の特徴を活かしたテーマや区域を設定することで、市全域への取組をより具体化するとともに、4つの基本方針を一体的かつ総合的に実施します。

市内に存在する多様で膨大な文化財について、文化財群としてのテーマおよびストーリーを設定することで、市内の文化財の関係性を明確にし、関連文化財群として価値付けを行い、一体的・総合的な文化財の保存・活用を進めます。

また分布状況を地図上に落とし込むことで、地理的特性をわかりやすく表現します。さらに、取組の中心となる活動や拠点施設を整理します。関連するテーマで活動を行っている団体等との協働や、関連する施設の活用により、それぞれ特色ある取組を進めていきます。

呉市の歴史文化の特徴



関連文化財群（保存・活用のテーマ）

4つの歴史文化の特徴から、文化財群のまとめりとして7つのテーマを抽出しました。これらのテーマごとに、歴史文化を継承するための取組を行っていきます。

①	海と島と山が織りなす絶景	呉市を形作る雄大な自然、人々の営みによって育まれた景観
②-1	海の恵みを求め根付いた原始の営み	瀬戸内海の成り立ちと原始の呉の営み、海の恵みを活かし海を通じた交流により発展する社会
②-2	山野河海を拓き獲得してきた大地の恵み	豊かさを求め拓かれた土地、災害と向き合い暮らしを潤す治水・利水事業
②-3	海に祈る多彩な信仰と地域に根付いた暮らし	海に祈る祭礼や習俗、地域の暮らしを伝える多彩な祭礼や習俗
③-1	戦国の争乱により形成された海賊衆の拠点	戦国の争乱と呉衆の活躍、呉衆の解体と小早川氏領国下の呉
③-2	海の往来とともに栄えた産業と町並み	地場産業と共に栄えた町並み、船の往来と共に栄えた港町
④	鎮守府の開庁により近代都市へと変貌を遂げた呉湾	軍港都市への変貌、海軍と共に激動する呉の人々の営み、現代に引き継がれる近代の礎

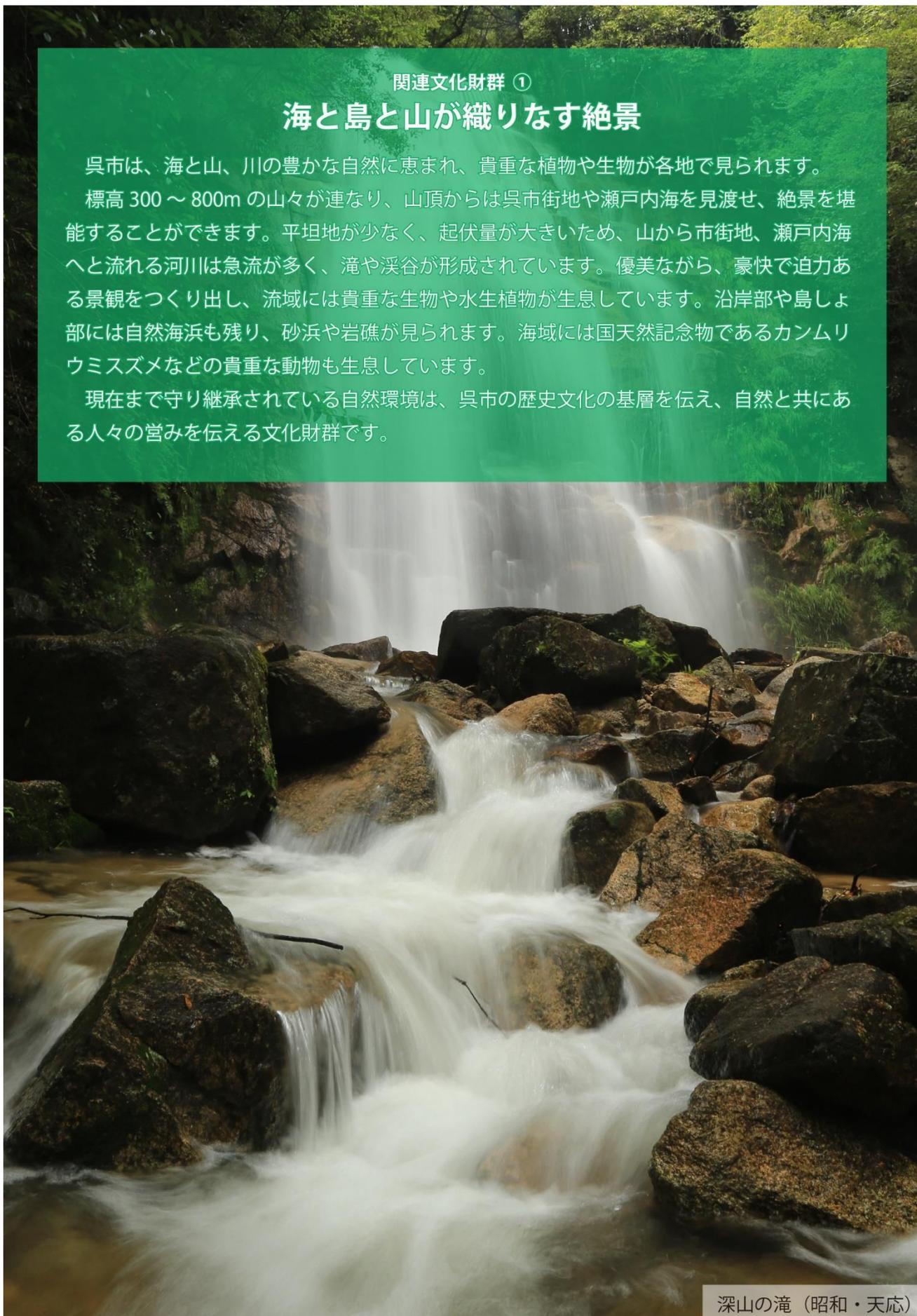
関連文化財群 ①

海と島と山が織りなす絶景

呉市は、海と山、川の豊かな自然に恵まれ、貴重な植物や生物が各地で見られます。

標高 300～800m の山々が連なり、山頂からは呉市街地や瀬戸内海を見渡せ、絶景を堪能することができます。平坦地が少なく、起伏量が大きいため、山から市街地、瀬戸内海へと流れる河川は急流が多く、滝や渓谷が形成されています。優美ながら、豪快で迫力ある景観をつくり出し、流域には貴重な生物や水生植物が生息しています。沿岸部や島しょ部には自然海浜も残り、砂浜や岩礁が見られます。海域には国天然記念物であるカンムリウミスズメなどの貴重な動物も生息しています。

現在まで守り継承されている自然環境は、呉市の歴史文化の基層を伝え、自然と共にある人々の営みを伝える文化財群です。



深山の滝（昭和・天応）

1 ストーリー

○呉市を形作る多彩な自然

市域は平坦地が少なく、山が地域を区切り、地区を形成しています。灰ヶ峰（中央）など九嶺に囲まれていることが呉の由来となったという説もあります。野呂山（川尻、安浦）や火山（倉橋）など、信仰の対象であり、地区のシンボルともなっています。7つの国が見えることからその名前が付いたという七国見山（蒲刈）などがあります。

内陸部は、起伏量が多く、急流の河川が山から市街地を通り、瀬戸内海に流れ込んでいます。二河峡（中央）、二級峡（広・郷原）などの渓谷や、深山の滝（昭和・天応）、白糸の滝（広）、桂の滝（蒲刈）などの滝が市街地の近くにあり、激しい流れによる浸食が岩を削り、ダイナミックな景観をつくりだしています。

地質鉱物に関わる文化財は、呉市の成り立ちを理解するうえでも重要です。広小坪の褶曲と断層（広）は、1億年以上前の地殻変動を伝えるものです。黒地の浜地層（安浦）は、中生代白亜紀の火山活動によりできた地層が現れたものであり、白糸の滝溶結凝灰岩（広）なども火山灰等によりできたものです。

市域には山、川、海の多様な生態系が凝縮されています。内陸の山の溪流付近の湿地には、ブチサンショウウオ（郷原）が生息しています。また、各地区の社叢は、瀬戸内海特有の樹種の古木や大木からなる森林が形成されており、信仰とともに大切に守られています。

○人々の営みによって育まれた景観

瀬戸内海の豊かな自然は、歴史や暮らし、生業とともに、風光明媚な景観として現代に継承されています。桂浜（倉橋）は万葉集に読まれ、音戸瀬戸は平清盛が開削したという伝説を持ちます。アビ渡来群游海面（豊浜）は、江戸時代よりアビ漁が行われ、三津口湾（安浦）には中国地方最大といわれるアマモ場が広がり、魚の産卵場所や生息場所となっています。



二河峡（中央）



広小坪の褶曲と断層（広）



野呂山の岩海（川尻）



大岐神社のムク（豊浜）



アビ渡来群游海面（豊浜）

第6章 歴史文化の特徴が紡ぐストーリーを楽しもう

倉橋地区では、花崗岩の採石が産業を構成していました。また安浦地区に見られる棚田や、中央地区の急峻な斜面地に作られた両城の階段住宅は、呉ならではの景観を形成しています。



宮ノ浜採石場（倉橋）

2 構成する文化財

構成文化財の一覧

番号	名称	地区	文化財種別	内容	指定等
1	二河峡	中央	記念物（名勝地）	渓谷	市
2	二河川	中央・昭和	記念物（名勝地）	河川等	
3	灰ヶ峰	中央・昭和・郷原	記念物（名勝地）	山岳・丘陵	
4	両城の階段住宅	中央	文化的景観	町並み景観	
5	吉浦八幡神社の社叢	吉浦	記念物（動物・植物・地質鉱物）	社叢	市
6	烏帽子岩山	吉浦・天応	記念物（名勝地）	山岳・丘陵	
7	田中八幡神社のフジノキ	天応	記念物（動物・植物・地質鉱物）	樹木	市
8	田中八幡神社の社叢	天応	記念物（動物・植物・地質鉱物）	社叢	市
9	深山の滝	天応・昭和	記念物（動物・植物・地質鉱物）	滝	市
10	多賀雄神社の社叢	昭和	記念物（動物・植物・地質鉱物）	社叢	市
11	高尾神社のフジノキ	昭和	記念物（動物・植物・地質鉱物）	樹木	市
12	八畳岩	昭和	記念物（名勝地）	岩石	
13	五連山	昭和	記念物（名勝地）	山岳・丘陵	
14	高尾神社の社叢	昭和	記念物（動物・植物・地質鉱物）	植物	
15	二級峡	郷原・広	記念物（名勝地）	渓谷	県
16	郷原のプチサンショウウオ	郷原	記念物（動物・植物・地質鉱物）	動物	市
17	郷原町のエノキ	郷原	記念物（動物・植物・地質鉱物）	樹木	市
18	新堂平神社の社叢	郷原	記念物（動物・植物・地質鉱物）	社叢	市
19	新堂平神社のシイノキ	郷原	記念物（動物・植物・地質鉱物）	樹木	市
20	白糸の滝	広	記念物（動物・植物・地質鉱物）	滝	市
21	白糸の滝の溶結凝灰岩	広	記念物（動物・植物・地質鉱物）	岩	市
22	広青年教育センターの蘇鉄	広	記念物（動物・植物・地質鉱物）	樹木	市
23	広小坪の褶曲と断層	広	記念物（動物・植物・地質鉱物）	地層	市
24	大空山	広・阿賀	記念物（名勝地）	山岳・丘陵	
25	船津神社の社叢	広	記念物（動物・植物・地質鉱物）	植物	
26	神田神社の社叢	阿賀	記念物（動物・植物・地質鉱物）	社叢	市
27	冠崎のヤマモモ	阿賀	記念物（動物・植物・地質鉱物）	樹木	市
28	阿賀のサルスベリ	阿賀	記念物（動物・植物・地質鉱物）	樹木	市
29	八岩華神社のクスノキ	仁方	記念物（動物・植物・地質鉱物）	樹木	市
30	磯神社のウバメガシの群叢	仁方	記念物（動物・植物・地質鉱物）	社叢	市
31	女猫の瀬戸	仁方・川尻・下蒲刈	記念物（名勝地）	海峡	
32	川尻のソテツ	川尻	記念物（動物・植物・地質鉱物）	樹木	県
33	楠の大木	川尻	記念物（動物・植物・地質鉱物）	樹木	市
34	野呂山岩海	川尻	記念物（動物・植物・地質鉱物）	岩海	市
35	野呂山（大滑岩、大重岩、子重岩、玉すだれの滝）	川尻・安浦	記念物（名勝地）	山	
36	黒地の浜 地層（紅柱石）	安浦	記念物（動物・植物・地質鉱物）	地層	市
37	市原観音堂 菩提樹	安浦	記念物（動物・植物・地質鉱物）	樹木	市

番号	名称	地区	文化財種別	内容	指定等
38	朶平神社の山桃	安浦	記念物（動物・植物・地質鉱物）	樹木	市
39	三津口湾の景観	安浦	記念物（名勝地）	港湾	
40	七浦・中小島自然海浜保全地区	安浦	記念物（名勝地）	海浜	
41	亀山八幡神社の社叢	安浦	記念物（動物・植物・地質鉱物）	社叢	
42	大浦崎自然海浜保全地区	音戸	記念物（名勝地）	海浜	
43	万葉集遺跡長門島松原	倉橋	記念物（遺跡）	史跡	県
44	火山	倉橋	記念物（名勝地）	火山	
45	宮ノ浜採石場	倉橋	文化的景観	採石場	
46	須之浦自然海浜保全地区	倉橋	記念物（名勝地）	海浜	
47	倉橋のカムリウミスズメ	倉橋	記念物（動物・植物・地質鉱物）	動物	
48	恋湾と恋ヶ浜	蒲刈	記念物（名勝地）	海浜	
49	桂の滝	蒲刈	記念物（名勝地）	滝	
50	七国見山	蒲刈	記念物（名勝地）	山	
51	アビ渡来群海海面	豊浜	記念物（動物・植物・地質鉱物）	自然環境	国
52	大岐神社のムク	豊浜	記念物（動物・植物・地質鉱物）	樹木	県
53	豊浜のホルトノキ群叢	豊浜	記念物（動物・植物・地質鉱物）	社叢	県
54	宇津神社のホルトノキ	豊	記念物（動物・植物・地質鉱物）	樹木	市



構成文化財の分布

3 関連する主な取組など

団体名	主な地区等	活動内容
ひろしま自然の会		自然観察会の実施 灰ヶ峰公園の活用
一般財団法人野呂山観光開発公社	川尻、安浦	野呂山一帯の国立公園、観光地としての活用
ストーブリッジ	倉橋	倉橋火山を活用した体験プログラムの開発
広島県自然保護課		中国自然歩道の活用、自然環境の保護
株式会社マウントベック	昭和	野外活動センターの活用、昭和地区の情報発信
呉市環境政策課	全域	市内の絶滅のおそれのある野生の動植物の広報

4 現状と課題

- 「広島県呉市植物誌」や「呉地域の地質」など各専門分野において、悉皆的な調査が実施されていますが、呉市の自然環境の魅力など、歴史文化の特徴や関連文化財群に関する調査研究が積極的に実施されていません。
- 「ひろしま自然の会」などの市民団体により、灰ヶ峰や野呂山などの地域の特徴的な自然を活用したイベントが実施されていますが、それらが動植物や景観などの文化財に関連する取組として位置づけられておらず、十分な連携を取ることができていません。
- 「呉の魅力・お宝 90 選 第3巻（自然・景観・動植物編）」として関連文化財の魅力が集約されていますが、市民が入手しやすい情報となっておらず、関連文化財の魅力が十分に周知されていません。
- 呉市の特徴的な地形や景観など、観光資源としても注目されるものですが、文化財としての情報発信媒体が限られており、多様な世代や市外の人に向けた十分な情報発信ができていません。

5 方針と措置

方針 歴史文化の特徴や関連文化財群に係る調査研究を推進します

関連文化財群のテーマに沿って実施される市民団体や調査研究機関による調査研究に対して支援を行い、成果を集約していきます。

→事業 A-1 (3) 関連文化財群調査研究支援事業

方針 市民団体等と連携した活用事業を推進します

関連文化財群のテーマに関連する取組を実施する市民団体と連携し、文化財の積極的な活用を図ります。

→事業 A-2 (19) 市民団体等と連携した文化財活用事業

方針 文化財に関する情報を集約します

未指定文化財や関連文化財群を含めて情報を集約し、呉市ホームページや文化財ガイドマップをリニューアルして市民に周知します。

→事業 A-3 (21) 文化財情報の集約化事業

方針 多様な世代や関心度に対応した情報発信を行います

広く呉市の文化財に関心を持ってもらうため、観光ガイドブックやタウン誌など文化財の情報発信をしていく媒体の拡充を図ります。

→事業 A-4 (24) 情報発信媒体の拡充

措置の一覧

事業番号	重点措置	措置	措置の内容	取組主体					事業期間				
				市民	所有者	管理者	調査研究機関	呉市	前期	中期	後期	第2期	
A-1 (3)	★	関連文化財群調査研究支援事業	関連文化財群のテーマに沿って実施される市民団体や調査研究機関による調査研究に対して支援を行い、成果を集約していきます。	◎	◎	◎	◎						
A-2 (19)	★	市民団体等と連携した文化財活用事業	関連文化財群のテーマに関連する取組を実施する市民団体と連携し、文化財の積極的な活用を図ります。	◎	○	○	◎						
A-3 (21)		文化財情報の集約化事業	未指定文化財や関連文化財群を含めて情報を集約し、呉市ホームページや文化財ガイドマップをリニューアルして市民に周知します。	○	○	○	◎						
A-4 (24)		情報発信媒体の拡充	広く呉市の文化財に関心を持ってもらうため、観光ガイドブックやタウン誌など文化財の情報発信をしていく媒体の拡充を図ります。				◎						

[事業番号] () は第5章と対応

[取組主体] ◎：主体的に取り組む、○：協働で取り組む

[事業期間] 前期：令和6(2024)～8(2026)年、中期：令和9(2027)～10(2028)年、後期：令和11(2029)～12(2030)年、第2期：令和13(2031)年～

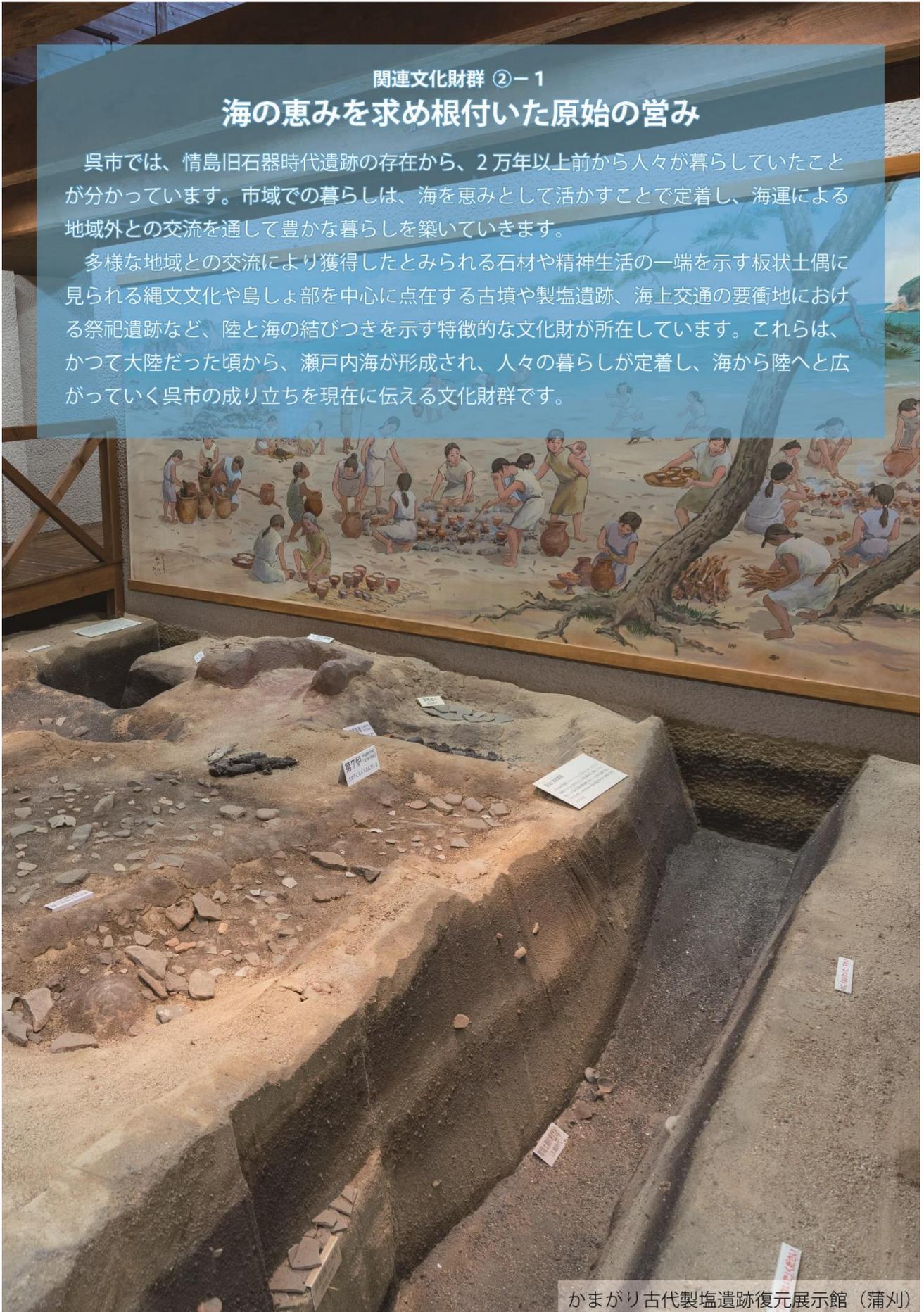
→：検討期間、▨：日常的に実施する事業、■：期間を定めて実施する事業

関連文化財群 ②-1

海の恵みを求め根付いた原始の営み

呉市では、情島旧石器時代遺跡の存在から、2万年以上前から人々が暮らしていたことが分かっています。市域での暮らしは、海を恵みとして活かすことで定着し、海運による地域外との交流を通して豊かな暮らしを築いていきます。

多様な地域との交流により獲得したとみられる石材や精神生活の一端を示す板状土偶に見られる縄文文化や島しょ部を中心に点在する古墳や製塩遺跡、海上交通の要衝地における祭祀遺跡など、陸と海の結びつきを示す特徴的な文化財が所在しています。これらは、かつて大陸だった頃から、瀬戸内海が形成され、人々の暮らしが定着し、海から陸へと広がっていく呉市の成り立ちを現在に伝える文化財群です。

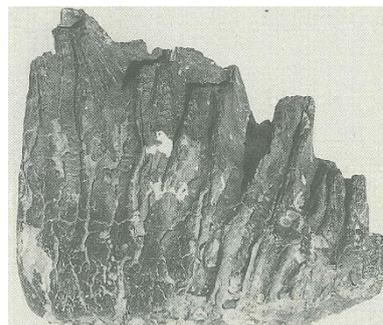


かまがり古代製塩遺跡復元展示館（蒲刈）

1 ストーリー

○瀬戸内海の成り立ちと原始の呉の営み

倉橋島周辺では、多数のナウマンゾウ・ニホンカムカシジカなどの化石（倉橋）が海底から引き揚げられている他、阿賀地区の沖合の情島旧石器時代遺跡（阿賀）からは旧石器時代に属する遺物が発見されており、かつての瀬戸内海が陸続きであった様相を彷彿とさせる多くの文化財が残されています。



海底出土ナウマンゾウ化石（倉橋）

○海の恵みを活かし、海を通じた交流により発展する社会

縄文時代になると、郷原遺跡（郷原）や芦冠遺跡（広）から出土した多様な石材を使用した石器類や板状土偶の様な特殊な遺物が確認されており、広域での交流や精神性の高い暮らしが形成されていたことが分かります。



芦冠遺跡出土板状土偶（広）

弥生時代以降になると、市域において人々の暮らしは定着し、瀬戸内海の自然を活かした生業が発達しました。

また古墳時代になると岩屋古墳（倉橋）に代表されるように、沿岸部や島しょ部を中心に古墳が形成されており、海洋資源や海上交通により社会性が発達したことが分かります。また沖浦遺跡（蒲刈）や柏島西の浜遺跡（川尻）からは、製塩に関する土器や遺構が発見されており、豊富な海洋資源を求め、根付いた当時の生業の一端を垣間見ることができます。



柏島西の浜遺跡（川尻）

また、呉市では古代より瀬戸内海の航路が発達し、交流・交易を通して地域が発展したことを示す遺跡が発見されています。特に亀ヶ首遺跡（倉橋）からは、枝銭の状態の和同開珎が出土しており、航海安全を祈り、祭祀を行ったと考えられています。



沖浦遺跡出土製塩土器（蒲刈）

2 構成する文化財

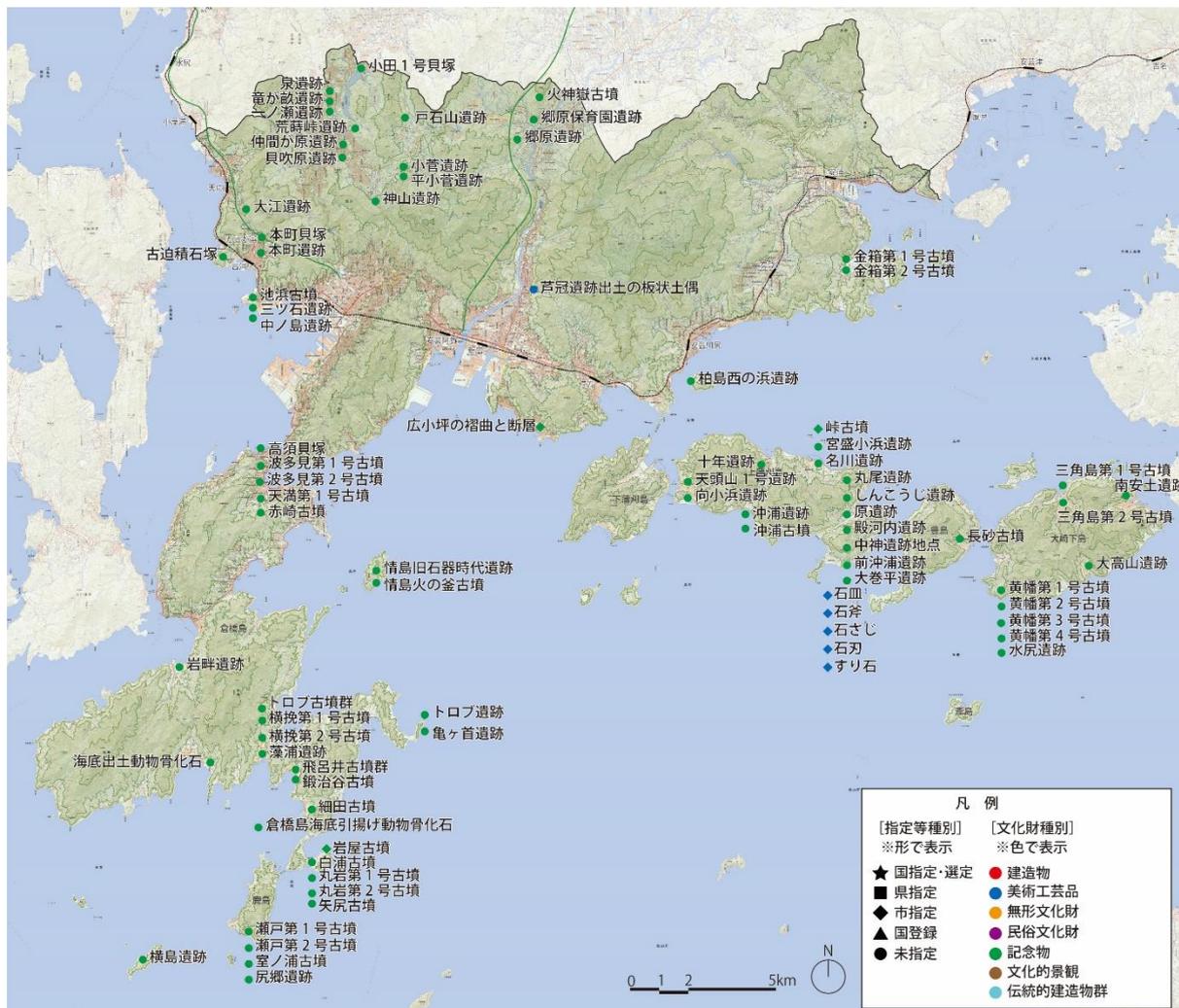
構成文化財の一覧

番号	名称	地区	文化財種別	内容	指定等
1	本町貝塚	吉浦	記念物（遺跡）	貝塚	
2	池浜古墳	吉浦	記念物（遺跡）	古墳	
3	古迫積石塚	吉浦	記念物（遺跡）	古墳	
4	本町遺跡	吉浦	記念物（遺跡）	包含地	
5	三ツ石遺跡	吉浦	記念物（遺跡）	包含地	
6	中ノ島遺跡	吉浦	記念物（遺跡）	包含地	
7	大江遺跡	吉浦	記念物（遺跡）	包含地	
8	小田1号貝塚	昭和	記念物（遺跡）	貝塚	
9	泉遺跡	昭和	記念物（遺跡）	包含地	
10	竜が畝遺跡	昭和	記念物（遺跡）	包含地	
11	一ノ瀬遺跡	昭和	記念物（遺跡）	包含地	
12	荒蒔峠遺跡	昭和	記念物（遺跡）	包含地	
13	仲間が原遺跡	昭和	記念物（遺跡）	包含地	
14	貝吹原遺跡	昭和	記念物（遺跡）	包含地	
15	神山遺跡	昭和	記念物（遺跡）	包含地	
16	小菅遺跡	昭和	記念物（遺跡）	包含地	
17	平小菅遺跡	昭和	記念物（遺跡）	包含地	
18	戸石山遺跡	昭和	記念物（遺跡）	包含地	
19	火神嶽古墳	郷原	記念物（遺跡）	古墳	
20	郷原遺跡	郷原	記念物（遺跡）	包含地	
21	郷原保育園遺跡	郷原	記念物（遺跡）	包含地	
22	芦冠遺跡出土の板状土偶	広	有形文化財（美術工芸品）	考古資料	
23	情島古旧石器時代遺跡	阿賀	記念物（遺跡）	包含地	
24	情島火の釜古墳群	阿賀	記念物（遺跡）	古墳	
25	柏島西の浜遺跡	川尻	記念物（遺跡）	包含地	
26	金箱第1号古墳	安浦	記念物（遺跡）	古墳	
27	金箱第2号古墳	安浦	記念物（遺跡）	古墳	
28	高須貝塚	音戸	記念物（遺跡）	貝塚	
29	波多見第1号古墳	音戸	記念物（遺跡）	古墳	
30	波多見第2号古墳	音戸	記念物（遺跡）	古墳	
31	天満第1号古墳	音戸	記念物（遺跡）	古墳	
32	赤崎古墳	音戸	記念物（遺跡）	古墳	
33	桐の木古墳	音戸	記念物（遺跡）	古墳	
34	岩屋古墳	倉橋	記念物（遺跡）	古墳	市
35	海底出土動物骨化石	倉橋	有形文化財（美術工芸品）	考古資料	
36	トロボ古墳群	倉橋	記念物（遺跡）	古墳	
37	横挽第1号古墳	倉橋	記念物（遺跡）	古墳	
38	横挽第2号古墳	倉橋	記念物（遺跡）	古墳	
39	飛呂井古墳群	倉橋	記念物（遺跡）	古墳	
40	鍛冶谷古墳	倉橋	記念物（遺跡）	古墳	
41	細田古墳	倉橋	記念物（遺跡）	古墳	
42	白浦古墳	倉橋	記念物（遺跡）	古墳	
43	丸岩第1号古墳	倉橋	記念物（遺跡）	古墳	
44	丸岩第2号古墳	倉橋	記念物（遺跡）	古墳	
45	矢尻古墳	倉橋	記念物（遺跡）	古墳	
46	瀬戸第1号古墳	倉橋	記念物（遺跡）	古墳	
47	瀬戸第2号古墳	倉橋	記念物（遺跡）	古墳	
48	室ノ浦古墳	倉橋	記念物（遺跡）	古墳	
49	トロボ遺跡	倉橋	記念物（遺跡）	祭祀遺跡	
50	亀ヶ首遺跡	倉橋	記念物（遺跡）	祭祀遺跡	

第6章 歴史文化の特徴が紡ぐストーリーを楽しもう

番号	名称	地区	文化財種別	内容	指定等
51	岩畔遺跡	倉橋	記念物（遺跡）	包含地	
52	藻浦遺跡	倉橋	記念物（遺跡）	包含地	
53	尻郷遺跡	倉橋	記念物（遺跡）	包含地	
54	横島遺跡	倉橋	記念物（遺跡）	包含地	
55	石皿	蒲刈	有形文化財（美術工芸品）	考古資料	市
56	石斧	蒲刈	有形文化財（美術工芸品）	考古資料	市
57	石さじ	蒲刈	有形文化財（美術工芸品）	考古資料	市
58	石刃	蒲刈	有形文化財（美術工芸品）	考古資料	市
59	すり石	蒲刈	有形文化財（美術工芸品）	考古資料	市
60	峠古墳	蒲刈	記念物（遺跡）	史跡	市
61	丸尾遺跡	蒲刈	記念物（遺跡）	集落跡	
62	沖浦遺跡	蒲刈	記念物（遺跡）	製塩遺跡	
63	天頭山1号遺跡	蒲刈	記念物（遺跡）	包含地	
64	向小浜遺跡	蒲刈	記念物（遺跡）	包含地	
65	十年遺跡	蒲刈	記念物（遺跡）	包含地	
66	宮盛小浜遺跡	蒲刈	記念物（遺跡）	包含地	
67	名川遺跡	蒲刈	記念物（遺跡）	包含地	
68	しんこうじ遺跡	蒲刈	記念物（遺跡）	包含地	
69	原遺跡	蒲刈	記念物（遺跡）	包含地	
70	殿河内遺跡	蒲刈	記念物（遺跡）	包含地	
71	中神遺跡地点	蒲刈	記念物（遺跡）	包含地	
72	前沖浦遺跡	蒲刈	記念物（遺跡）	包含地	
73	大巻平遺跡	蒲刈	記念物（遺跡）	包含地	
74	天頭山2号遺跡	蒲刈	記念物（遺跡）	包含地	
75	長砂古墳	豊浜	記念物（遺跡）	古墳	
76	黄幡第1号古墳	豊浜	記念物（遺跡）	古墳	
77	黄幡第2号古墳	豊浜	記念物（遺跡）	古墳	
78	黄幡第3号古墳	豊浜	記念物（遺跡）	古墳	
79	黄幡第4号古墳	豊浜	記念物（遺跡）	古墳	
80	水尻遺跡	豊浜	記念物（遺跡）	包含地	
81	三角島第1号古墳	豊	記念物（遺跡）	古墳	
82	三角島第2号古墳	豊	記念物（遺跡）	古墳	
83	南安土遺跡	豊	記念物（遺跡）	包含地	
84	大高山遺跡	豊	記念物（遺跡）	包含地	

第6章 歴史文化の特徴が紡ぐストーリーを楽しもう



構成文化財の分布

3 関連する主な取組など

団体名	主な地区等	活動内容
広島大学考古学研究室		埋蔵文化財の調査研究
広郷土史研究会	広	原始～近現代の郷土史研究
呉市海事歴史科学館学芸課	中央	呉市歴史民俗資料館収蔵考古資料の活用
藻塩の会	蒲刈	沖浦遺跡（蒲刈）を中心とする考古資料の展示、藻塩づくり体験の実施
一般財団法人倉橋まちづくり公社	倉橋	倉橋歴史民俗資料館収蔵考古資料の活用
くらはし観光ボランティアガイドの会	倉橋	倉橋町内の遺跡の活用、ワークショップの実施
広島県立歴史民俗資料館		考古資料を中心とするワークショップの実施

4 現状と課題

○市内遺跡から出土した考古資料が、歴史民俗資料館やその他の収蔵施設に分散して収蔵されていますが、台帳整備ができておらず、特徴的な資料の把握や保存・活用を検討するための基礎資料がありません。

- 市域全体を対象とした遺跡の関連性や遺物の価値づけといった調査研究が十分に行われていません。
- 沿岸地域における製塩遺跡や芦冠遺跡出土の板状土偶、亀ヶ首遺跡出土の和同開珎の枝錢などの地域を特徴づける遺跡や遺物の調査研究が十分に行われていません。
- 市内遺跡や出土遺物に関する情報が、市民や市外に向けて積極的に発信されていないため、関連文化財の魅力が十分に周知されていません。
- 地域住民や子どもたちが、地域から見つかった遺跡や出土遺物に触れる機会が限られており、関連文化財群に対する関心を高めることができていません。

5 方針と措置

方針 市内の収蔵資料を把握し、台帳を整備します

過去の調査などにより集積された古文書や民俗資料、考古資料等について内容を把握し、台帳を整備します。

→事業 B-1 (2) 市内収蔵資料の台帳整備

方針 歴史文化の特徴や関連文化財群に関する調査研究を推進します

関連文化財群のテーマに沿って実施される市民団体や調査研究機関による調査研究に対して支援を行い、成果を集約していきます。

→事業 B-2 (3) 関連文化財群調査研究支援事業

方針 個別の文化財に関する詳細調査を実施します

沿岸部の製塩遺跡である沖浦遺跡や芦冠遺跡から出土した板状土偶など、特徴的な文化財を対象とした詳細調査を実施します。

→事業 B-3 (4) 詳細文化財調査

方針 文化財に関する情報を集約します

未指定文化財や関連文化財群を含めて情報を集約し、呉市ホームページや文化財ガイドマップをリニューアルして市民に周知します。

→事業 B-4 (21) 文化財情報の集約化事業

方針 学校や地域に対する普及啓発を充実させます

市内教育機関や地域イベントにおいて、発掘調査事例や考古資料を活用した普及啓発事業を実施します。

→事業 B-5 (22) 学校や地域における普及啓発事業

措置の一覧

事業番号	重点措置	措置	措置の内容	取組主体				事業期間			
				市民	所有者 管理者	調査研 究機関	呉市	前期	中期	後期	第2期
B-1 (2)		市内収蔵資料の台帳整備	過去の調査などにより集積された古文書や民俗資料、考古資料等について内容を把握し、台帳を整備します。		○	○	◎				
B-2 (3)	★	関連文化財群調査研究支援事業	関連文化財群のテーマに沿って実施される市民団体や調査研究機関による調査研究に対して支援を行い、成果を集約していきます。	◎	◎	◎	◎				
B-3 (4)		詳細文化財調査	沿岸部の製塩遺跡である沖浦遺跡や芦冠遺跡から出土した板状土偶など、特徴的な文化財を対象とした詳細調査を実施します。	○	○	◎	◎				
B-4 (21)		文化財情報の集約化事業	未指定文化財や関連文化財群を含めて情報を集約し、呉市ホームページや文化財ガイドマップをリニューアルして市民に周知します。	○	○	○	◎				
B-5 (22)	★	学校や地域における普及啓発事業	市内教育機関や地域イベントにおいて、発掘調査事例や考古資料を活用した普及啓発事業を実施します。	○	○	○	◎				

[事業番号] () は第5章と対応

[取組主体] ◎：主体的に取り組む、○：協働で取り組む

[事業期間] 前期：令和6(2024)～8(2026)年、中期：令和9(2027)～10(2028)年、後期：令和11(2029)～12(2030)年、第2期：令和13(2031)年～

→：検討期間、▨：日常的に実施する事業、■：期間を定めて実施する事業

関連文化財群 ②-2

山野河海を拓き獲得してきた大地の恵み

山と海に囲まれ、平坦な土地の少ない呉市において、現在の呉市域の宅地や耕宅地の大半は、江戸時代の新開築調によってほぼ形成されました。二河川から水を引き込むための用水路として二河井手が構築され、宮原村では長渠と呼ばれる水路が整備され、農業の安定化が行われています。

生活の場が限られていた呉市域では、山野河海を拓き、暮らしの場を広げ、生業を創り出してきました。現在に残るそれらの遺構や記念碑は、開拓の歴史を伝える文化財群です。



両城の200階段周辺（中央）

1 ストーリー

○豊かさを求め拓かれた土地

江戸時代より新開築調が進められ、現在の呉市域の宅地や耕作地が形成されました。広邑新墾碑（広）などの歴史資料が当時の様子を伝えるとともに、雁木からは、海を拓いた歴史を伺うことができます。

江戸時代には、野呂山（川尻・安浦）の開拓が行われました。今も石畳の道などの遺構が残っています。倉橋地区では江戸時代より石積みにより段々畑（倉橋）が築かれました。棚田や急斜面地のみかん畑など、独自の景観を形成しています。また、採石業も盛んで、現在も倉橋などで採石場やその跡地があります。

海路が人々の移動や流通の中心でしたが、江戸時代以降、陸の道が整備されました。長ノ木街道（中央・昭和）は江戸時代に整備された、広島に通じる唯一の陸路です。街道沿いには、旧澤原家住宅（中央）があります。黒瀬街道（広・郷原）は、広、郷原、黒瀬を結ぶ山肌沿いを走る道で、明治時代に馬車なども通れる道を拓こうと開道したものです。石畳や常夜燈が街道の歴史を現在に伝えていきます。

○災害と治水・利水事業

宅地や耕作地の拡大に伴う水不足に対して、江戸時代より灌漑施設の整備が続けられてきました。二河上井手・下井手（中央）は、江戸時代に庄山田村の庄屋である熊崎新左衛門らにより作られた水路であり、取入口は二河水源地取入口（中央）として現在も利用されています。また、宮原村庄屋の青盛為蔵らは、川の増水を防ぎ、水不足に悩む洗足へ余水を流すため、宮原の長渠を掘削しました。これを記念して、長渠の碑（宮原）が建立されました。大正7（1918）年には、海軍施設の拡張に伴う水不足に対処するため本庄水源地（昭和）が整備されました。海軍により整備された水道施設は、現在の呉市水道の基盤となっています。



伝清盛塚（音戸）



鹿島の段々畑（倉橋）



黒瀬街道の常夜燈（郷原）



長渠の碑（中央）

また、多くの土砂災害などの災害を乗り越えてきました。文字資料のほか、各地に慰霊碑が設置されており、災害の歴史を伝えています。



二河井手（中央）

2 構成する文化財

構成文化財の一覧

番号	名称	地区	文化財種別	内容	指定等
1	二河（上・下）井手跡	中央	記念物（遺跡）	用水路跡	市
2	両城の階段住宅	中央	文化的景観	町並み景観	
3	長渠の碑	宮原	記念物（遺跡）	記念碑・慰霊碑	市
4	豊栄新開経営の碑	阿賀	記念物（遺跡）	記念碑・慰霊碑	
5	阿賀港の雁木	阿賀	有形文化財（建造物）	土木構造物	
6	岩樋水門跡	広	記念物（遺跡）	街道跡・施設跡	市
7	広邑新懇碑	広	記念物（遺跡）	記念碑・慰霊碑	市
8	膺懲碑	広	記念物（遺跡）	記念碑・慰霊碑	
9	段々畑の石垣	広	文化的景観	農業景観	
10	旧黒瀬街道の石畳	広・郷原	記念物（遺跡）	街道跡・施設跡	
11	塩田の由来碑	仁方	記念物（遺跡）	記念碑・慰霊碑	
12	野呂山開拓之碑	郷原・安浦	記念物（遺跡）	記念碑・慰霊碑	
13	安浦の棚田	安浦	文化的景観	農業景観	
14	猪鹿垣	安浦	文化的景観	農業景観	
15	伝清盛塚	音戸	記念物（遺跡）	記念碑・慰霊碑	県
16	鹿島の段々畑	倉橋	文化的景観	農業景観	
17	木造農船 大長丸	豊	有形の民俗文化財	船舶	市
18	石段畑	豊	文化的景観	農業景観	
19	大長北堀雁木	豊	有形文化財（建造物）	土木構造物	



構成文化財の分布

3 関連する主な取組など

団体名	主な地区等	活動内容
呉観光ボランティアの会	中央	観光ガイドの実施
一般社団法人くれ・ひと・まち情報 応援団	中央	まち歩きイベントの実施
広郷土史研究会	広	郷土史研究
各地域おこし協力隊		各地域における歴史文化のまちづくりへの活用

4 現状と課題

- 構成文化財の多くは雁木や開墾碑などの未指定文化財であり、これまで積極的な悉皆調査が実施されてこなかったことから、正確な分布や残存状況が把握できていません。
- 近世～近代の開拓の歴史に係る調査研究を実施している市民団体や調査研究機関と十分な連携がとれていません。
- まちづくり協議会などの市民団体によってまち歩きイベントの一環として活用されていますが、二河（上・下）井手跡や両城の階段住宅などの一部の文化財に限られており、各地域の特徴的な文化財が十分に活用されていません。

- 呉市の開拓史に関する情報が集約されておらず、また市民や市外に向けて積極的に発信されていないため、関連文化財の魅力が十分に周知されていません。
- 地域住民や子どもたちが、地域に残る新開築調碑や雁木などの身近な文化財に触れる機会が限られており、関連文化財群に対する関心を高めることができていません。

5 方針と措置

方針 市内全域を対象とした悉皆調査を推進します

雁木や開墾碑などの未把握の分野の文化財について悉皆調査を実施し、価値を明らかにしていきます。

→事業 C-1 (1) 市内文化財悉皆調査

方針 歴史文化の特徴や関連文化財群に係る調査研究を推進します

関連文化財群のテーマに沿って実施される市民団体や調査研究機関による調査研究に対して支援を行い、成果を集約していきます。

→事業 C-2 (3) 関連文化財群調査研究支援事業

方針 市民団体等と連携した活用事業を推進します

まち歩きイベントを実施する市民団体と連携し、積極的な文化財の活用を図ります。

→事業 C-3 (19) 市民団体等と連携した文化財活用事業

方針 文化財に関する情報を集約します

未指定文化財や関連文化財群を含めて情報を集約し、呉市ホームページや文化財ガイドマップをリニューアルして市民に周知します。

→事業 C-4 (21) 文化財情報の集約化事業

方針 学校や地域に対する普及啓発を充実させます

市内教育機関や地域イベントにおいて、発掘調査事例や考古資料を活用した普及啓発事業を実施します。

→事業 C-5 (22) 学校や地域における普及啓発事業

措置の一覧

事業番号	重点措置	措置	措置の内容	取組主体					事業期間				
				市民	所有者	管理者	調査研究機関	呉市	前期	中期	後期	第2期	
C-1 (1)	★	市内文化財悉皆調査	雁木や開墾碑などの未把握の分野の文化財について悉皆調査を実施し、価値を明らかにしていきます。	○	○	◎	◎						
C-2 (3)	★	関連文化財群調査研究支援事業	関連文化財群のテーマに沿って実施される市民団体や調査研究機関による調査研究に対して支援を行い、成果を集約していきます。	◎	◎	◎	◎						
C-3 (19)	★	市民団体等と連携した文化財活用事業	まち歩きイベントを実施する市民団体と連携し、積極的な文化財の活用を図ります。	◎	○	○	◎						
C-4 (21)		文化財情報の集約化事業	未指定文化財や関連文化財群を含めて情報を集約し、呉市ホームページや文化財ガイドマップをリニューアルして市民に周知します。	○	○	○	◎						
C-5 (22)	★	学校や地域における普及啓発事業	市内教育機関や地域イベントにおいて、発掘調査事例や考古資料を活用した普及啓発事業を実施します。	○	○	○	◎						

[事業番号] () は第5章と対応

[取組主体] ◎：主体的に取り組む、○：協働で取り組む

[事業期間] 前期：令和6（2024）～8（2026）年、中期：令和9（2027）～10（2028）年、後期：令和11（2029）～12（2030）年、第2期：令和13（2031）年～

→：検討期間、▨：日常的に実施する事業、■：期間を定めて実施する事業

関連文化財群 ②-3

海に祈る多彩な信仰と地域に根付いた暮らし

平安時代、弘法大師は野呂山で修行を行ったと伝えられています。亀山神社の創建年代は明らかではありませんが、大宝3（703）年に現在の入船山に鎮座したと伝えられています。

近世以降、市内には、それぞれの地域での暮らしや信仰とともに地域固有の民俗文化が育まれてきました。漁業や農業などの暮らしとともに、山や海の恵みに祈りを捧げる祭りは地域の文化として根付き、各地の神社の祭礼等として現在まで継承されています。音戸瀬戸を渡る船頭によって唄い継がれてきた音戸の舟唄、神社の例大祭で奉納される神楽や踊り、市内各地で行われているとんどや盆踊りなどの年中行事、地域性を反映した民俗に彩られます。

往来が盛んな呉市においては、地域外から持ち込まれ、地域に定着した民俗芸能等もあります。地域に根付き、地域性と共存しながら暮らしとともに現在まで継承されてきた文化財群です。



胡神社祭礼（豊浜）

1 ストーリー

○海に祈る多彩な信仰

瀬戸内海に面する呉市内においては、海に関連する祭礼行事が多くあります。海上安全を祈願する入江神社明神祭お供舟（広）、阿賀のお漕船（阿賀）、柏島神社例大祭（安浦）などがあります。吉浦八幡神社例大祭（吉浦）は、小早川水軍に起源を持つ祭礼です。磯神社の舟形石の手水鉢（仁方）は、船の形をした珍しいもので、船乗りの厚い信仰の表れといえます。また、音戸瀬戸を行き交う船頭たちによって唄われてきた音戸の舟唄（音戸）などがあります。



阿賀のお漕船（阿賀）



柏島神社例大祭（安浦）



桂濱神社大祭（倉橋）

○地域の暮らしを伝える個性豊かな習俗

起源は明らかになっていませんが、内陸部の祭礼の多くで、神の使いといわれるヤブ（全域）が出現します。木彫りの鬼面を被ったヤブが練り歩き、奉納される俵等と激しく揉み合います。とんど（全域）や盆踊り（全域）などの年中行事は各地で行われています。

瀬戸内海の航路に位置していた呉市では、人々の往来に伴い地域外から取り入れ、定着した祭礼行事があります。小坪神楽（広）は愛媛県大三島の大山祇神社の神楽より習ったものと言われています。堀越祇園社祇園祭り（川尻）は京都の祇園祭を模したもので、伊勢音頭でダンジリを引く広島県内では珍しい祭礼です。仁方の櫛踊り（仁方）は明治時代に伊勢方面より持ち込んだのが始まりといわれています。また、八十八ヶ所巡礼（倉橋）など、四国八十八ヶ所の写し霊場として江戸時代に作られたものも、地域の習俗として伝えられています。

また伝統食や、民具などの暮らしを伝える歴史資料も多く残されています。民具の一部は資料館や小学校に収蔵・展示され、郷土を理解するための資料として活用されています。



貴船（龍王）神社例大祭
（中央）



小坪神楽（広）



呉の盆踊り（全域）

○海の恵みがもたらした豊かな食文化

呉市内には、瀬戸内海の恵みからもたらされる豊かな食文化があります。瀬戸内海では牡蠣の養殖やちりめん漁などが行われ、温暖な気候を生かした柑橘類の栽培も行われています。

また、細うどんや肉じゃがなど旧呉海軍に由来する食文化が現在も継承されています。旧呉海軍による都市としての発展は、酒や味噌、醤油などの醸造業の発展をもたらしました。

さらに、牡蠣に関連した食文化である「かきの土手鍋、旧呉海軍に関連した食文化である「海軍ゆかりの食文化～海軍カレー・ビーフシチュー・肉じゃが～」がそれぞれ文化庁「100年フード」に認定されており、食文化の継承・拡大に向けた取組が行われています。

2 構成する文化財

構成文化財の一覧

番号	名称	地区	文化財種別	内容	指定等
1	亀山神社例大祭	中央	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
2	萬年寺大祭火渡り修行	中央	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
3	鯛乃宮神社例大祭	中央	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
4	平原神社秋季例大祭	中央	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
5	貴船（龍王）神社例大祭	中央	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
6	二河峡の十一面観音菩薩像伝説	中央	無形の民俗文化財	民話・伝説	
7	乙女椿伝説	中央	無形の民俗文化財	民話・伝説	
8	八咫鳥神社例祭	宮原	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
9	八咫鳥伝説	宮原	無形の民俗文化財	民話・伝説	
10	吉浦八幡神社例大祭	吉浦	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
11	田中八幡神社例大祭	天応	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
12	多賀雄神社秋季大祭	昭和	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
13	高尾神社例祭	昭和	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
14	盆踊りのくどき・太鼓	昭和	無形の民俗文化財	芸能	
15	多賀雄神社夏越祭	昭和	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
16	堂さん祭り	昭和	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
17	いぼ神さん祭り	昭和	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
18	観音さん祭り	昭和	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
19	亥の子まつり	昭和	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
20	虚空蔵堂	昭和	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
21	竹内神社秋季大祭	昭和	無形の民俗文化財	祭礼・行事	

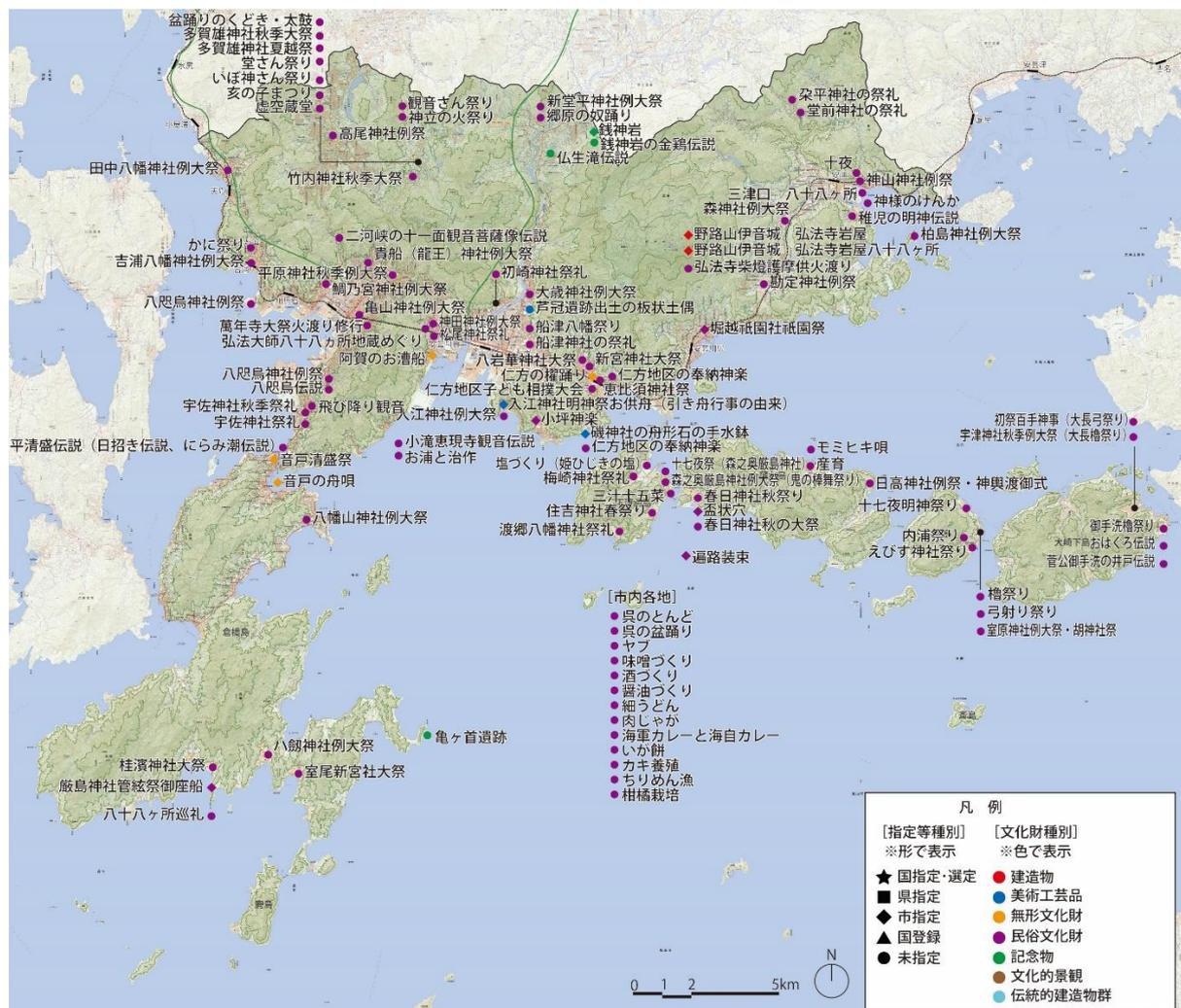
第6章 歴史文化の特徴が紡ぐストーリーを楽しもう

番号	名称	地区	文化財種別	内容	指定等
22	銭神岩	郷原	記念物（動物・植物・地質鉱物）	岩	市
23	新堂平神社例大祭	郷原	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
24	郷原の奴踊り	郷原	無形の民俗文化財	芸能	
25	銭神岩の金鶏伝説	郷原	記念物（名勝地）	伝承地	
26	仏生滝伝説	郷原・広	記念物（名勝地）	伝承地	
27	入江神社明神祭お供舟（引き舟行事の由来）	広	有形文化財（美術工芸品）	工芸品	市
28	小坪神楽	広	無形の民俗文化財	祭礼・行事	市
29	大歳神社例大祭	広	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
30	入江神社例大祭	広	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
31	小滝恵現寺観音伝説	広	無形の民俗文化財	民話・伝説	
32	船津八幡祭り	広	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
33	初崎神社祭礼	広	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
34	船津神社の祭礼	広	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
35	芦冠遺跡出土の板状土偶	広	有形文化財（美術工芸品）	考古資料	
36	阿賀のお漕船	阿賀	無形文化財	伝統技術	市
37	神田神社例大祭	阿賀	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
38	お浦と治作	阿賀・音戸	無形の民俗文化財	民話・伝説	
39	弘法大師八十八ヶ所地蔵めぐり	阿賀	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
40	神立の火祭り	阿賀	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
41	松尾神社祭礼	阿賀	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
42	磯神社の舟形石の手水鉢	仁方	有形文化財（美術工芸品）	工芸品	市
43	仁方の權踊り	仁方	無形文化財	踊り	市
44	仁方地区子ども相撲大会	仁方	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
45	仁方地区の奉納神楽	仁方	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
46	八岩華神社大祭	仁方	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
47	新宮神社大祭	仁方	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
48	恵比須神社祭	仁方	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
49	堀越祇園社祇園祭	川尻	無形の民俗文化財	祭礼・行事	市
50	野路山伊音城 弘法寺岩屋八十八ヶ所	安浦	有形文化財（建造物）	建造物	市
51	野路山伊音城 弘法寺岩屋	安浦	有形文化財（建造物）	建造物	市
52	三津口 八十八ヶ所	安浦	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
53	柏島神社例大祭	安浦	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
54	神山神社例祭	安浦	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
55	森神社例大祭	安浦	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
56	弘法寺柴燈護摩供火渡り	安浦	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
57	稚児の明神伝説	安浦	無形の民俗文化財	民話・伝説	
58	神様のけんか	安浦	無形の民俗文化財	民話・伝説	
59	堂前神社の祭礼	安浦	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
60	朶平神社の祭礼	安浦	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
61	十夜	安浦	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
62	勘定神社例祭	安浦	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
63	宇佐神社秋季祭礼	警固屋	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
64	飛び降り観音	警固屋	無形の民俗文化財	民話・伝説	
65	平清盛伝説（日招き伝説、にらみ潮伝説）	警固屋・音戸	無形の民俗文化財	民話・伝説	
66	宇佐神社祭礼	警固屋	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
67	音戸の舟唄	音戸	無形文化財	民謡	市
68	音戸清盛祭	音戸	無形文化財	祭礼・行事	市
69	八幡山神社例大祭	音戸	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
70	蔵島神社管絃祭御座船	倉橋	有形の民俗文化財		市
71	八十八ヶ所巡礼	倉橋	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
72	桂濱神社大祭	倉橋	無形の民俗文化財	祭礼・行事	

第6章 歴史文化の特徴が紡ぐストーリーを楽しもう

番号	名称	地区	文化財種別	内容	指定等
73	室尾新宮社大祭	倉橋	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
74	ハ劔神社例大祭	倉橋	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
75	亀ヶ首遺跡	倉橋	記念物（遺跡）	祭祀遺跡	
76	十七夜祭	下蒲刈	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
77	森之奥巖島神社例大祭（鬼の棒舞祭り）	下蒲刈	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
78	三汁十五菜	下蒲刈	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
79	塩づくり（姫ひじきの塩）	下蒲刈	無形の民俗文化財	郷土食	
80	梅崎神社祭礼	下蒲刈	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
81	渡郷八幡神社祭礼	下蒲刈	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
82	住吉神社春祭り	下蒲刈	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
83	春日神社秋祭り	下蒲刈	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
84	遍路装束	蒲刈	有形の民俗文化財	有形の民俗文化財	市
85	盃状穴	蒲刈	有形の民俗文化財	有形の民俗文化財	市
86	日高神社例祭・神輿渡御式	蒲刈	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
87	春日神社秋の大祭	蒲刈	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
88	モミヒキ唄	蒲刈	無形の民俗文化財	民謡・唄	
89	産育	蒲刈	無形の民俗文化財	行事・慣習	
90	弓射り祭り	豊浜	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
91	室原神社例大祭・胡神社祭	豊浜	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
92	十七夜明神祭り	豊浜	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
93	えびす神社祭り	豊浜	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
94	内浦祭り	豊浜	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
95	初祭百手神事（大長弓祭り）	豊	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
96	宇津神社秋季例大祭（大長櫓祭り）	豊	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
97	御手洗櫓祭り	豊	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
98	おはぐろ伝説	豊	無形の民俗文化財	民話・伝説	
99	菅公御手洗の井戸伝説	豊	無形の民俗文化財	民話・伝説	
100	呉のとんど	全域	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
101	呉の盆踊り	全域	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
102	ヤブ	全域	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
103	味噌づくり	全域	無形の民俗文化財	郷土食	
104	酒づくり	全域	無形の民俗文化財	郷土食	
105	醤油づくり	全域	無形の民俗文化財	郷土食	
106	細うどん	全域	無形の民俗文化財	郷土食	
107	肉じゃが	全域	無形の民俗文化財	郷土食	
108	海軍カレーと海自カレー	全域	無形の民俗文化財	郷土食	
109	いが餅	全域	無形の民俗文化財	郷土食	
110	牡蠣養殖	全域	無形の民俗文化財	生業	
111	ちりめん漁	全域	無形の民俗文化財	生業	
112	柑橘栽培	全域	無形の民俗文化財	生業	

第6章 歴史文化の特徴が紡ぐストーリーを楽しもう



構成文化財の分布

3 関連する主な取組など

団体名	主な地区等	活動内容
各伝統行事等の実施団体・保存会		各伝統行事等の継承・団体の運営
呉秋祭り文化普及実行委員会（ヤブ女）		ヤブを中心とする市内の祭り文化の調査、普及啓発
一般社団法人まめな（久比歴史民俗学科）	豊	郷土の民俗文化の調査、普及啓発
広島県歴史民俗資料館		民俗資料を活用したワークショップの実施
民俗資料を収蔵する市内小学校等		民俗資料を活用した郷土学習の実施

4 現状と課題

- 構成文化財群の多くが祭りや習俗などの未指定かつ無形の文化財であり、これまで積極的な悉皆調査が実施されていないため、正確な継承の状況が把握できていません。
- 少子高齢化や過疎化などの影響により、無形の文化財に関する継承活動は特に困難な状況となっていますが、保有団体が実施する継承活動に対して積極的な支援を行うことができていません。

- 「ヤブ女」などの市民団体により、地域の特徴的なヤブなどに注目した呉市の魅力に関する情報発信が行われていますが、それらが文化財に関連する取組として位置づけられておらず、十分な連携を取ることができていません。
- 構成文化財の多くが無形の文化財であり、地域住民によって行われるものであることから、市民や調査研究機関が見学する機会が限られており、関連文化財群に対する関心を高めることができていません。
- 地域によって行われる特徴的な祭りなど、観光資源としても注目されるものですが、文化財としての情報発信媒体が限られており、多様な世代や市外の人に向けて関連文化財群の魅力が十分に周知されていません。

5 方針と措置

方針 市内全域を対象とした悉皆調査を推進します

各地で行われている祭りなどの伝統行事や食文化などの未把握の分野の文化財について悉皆調査を実施し、価値を明らかにしていきます。

→事業D-1 (1) 市内文化財悉皆調査

方針 無形の文化財の継承のための支援を充実させます

無形文化財及び無形の民俗文化財について、保有団体等による継承者育成を目的とした事業を支援します。

→事業D-2 (13) 無形の文化財に係る継承者育成事業

方針 市民団体等と連携した活用事業を推進します

文化財と関連して活動している市民団体と連携し、積極的な文化財の活用を図ります。

→事業D-3 (19) 市民団体等と連携した文化財活用事業

方針 利活用しやすい文化財情報を提供します

文化財に関する情報をデジタルアーカイブ化し、市民や調査研究機関が利活用できるよう広く提供します。

→事業D-4 (23) 文化財デジタルアーカイブ構築事業

方針 多様な世代や関心度に対応した情報発信を行います

広く呉市の文化財に関心を持ってもらうため、観光ガイドブックやタウン誌など、文化財の情報発信をしていく媒体の拡充を図ります。

→事業D-5 (24) 情報発信媒体の拡充

措置の一覧

事業番号	重点措置	措置	措置の内容	取組主体					事業期間			
				市民	所有者 管理者	調査研 究機関	呉市	前期	中期	後期	第2期	
D-1 (1)	★	市内文化財悉皆調査	各地で行われている祭りなどの伝統行事や食文化などの未把握の分野の文化財について悉皆調査を実施し、価値を明らかにしていきます。	○	○	◎	◎	■	■	■		
D-2 (13)	★	無形の文化財に係る継承者育成事業	無形文化財及び無形の民俗文化財について、保有団体等による継承者育成を目的とした事業を支援します。	◎	◎		○	→	■	■		
D-3 (19)	★	市民団体等と連携した文化財活用事業	文化財と関連して活動している市民団体と連携し、積極的な文化財の活用を図ります。	◎	○	○	◎	■	■	■		
D-4 (23)		文化財デジタルアーカイブ構築事業	文化財に関する情報をデジタルアーカイブ化し、市民や調査研究機関が利活用できるよう広く提供します。	○	○	○	◎	→	■	■		
D-5 (24)		情報発信媒体の拡充	広く呉市の文化財に関心を持ってもらうため、観光ガイドブックやタウン誌など、文化財の情報発信をしていく媒体の拡充を図ります。				◎	■	■	■		

[事業番号] () は第5章と対応

[取組主体] ◎：主体的に取り組む、○：協働で取り組む

[事業期間] 前期：令和6（2024）～8（2026）年、中期：令和9（2027）～10（2028）年、後期：令和11（2029）～12（2030）年、第2期：令和13（2031）年～

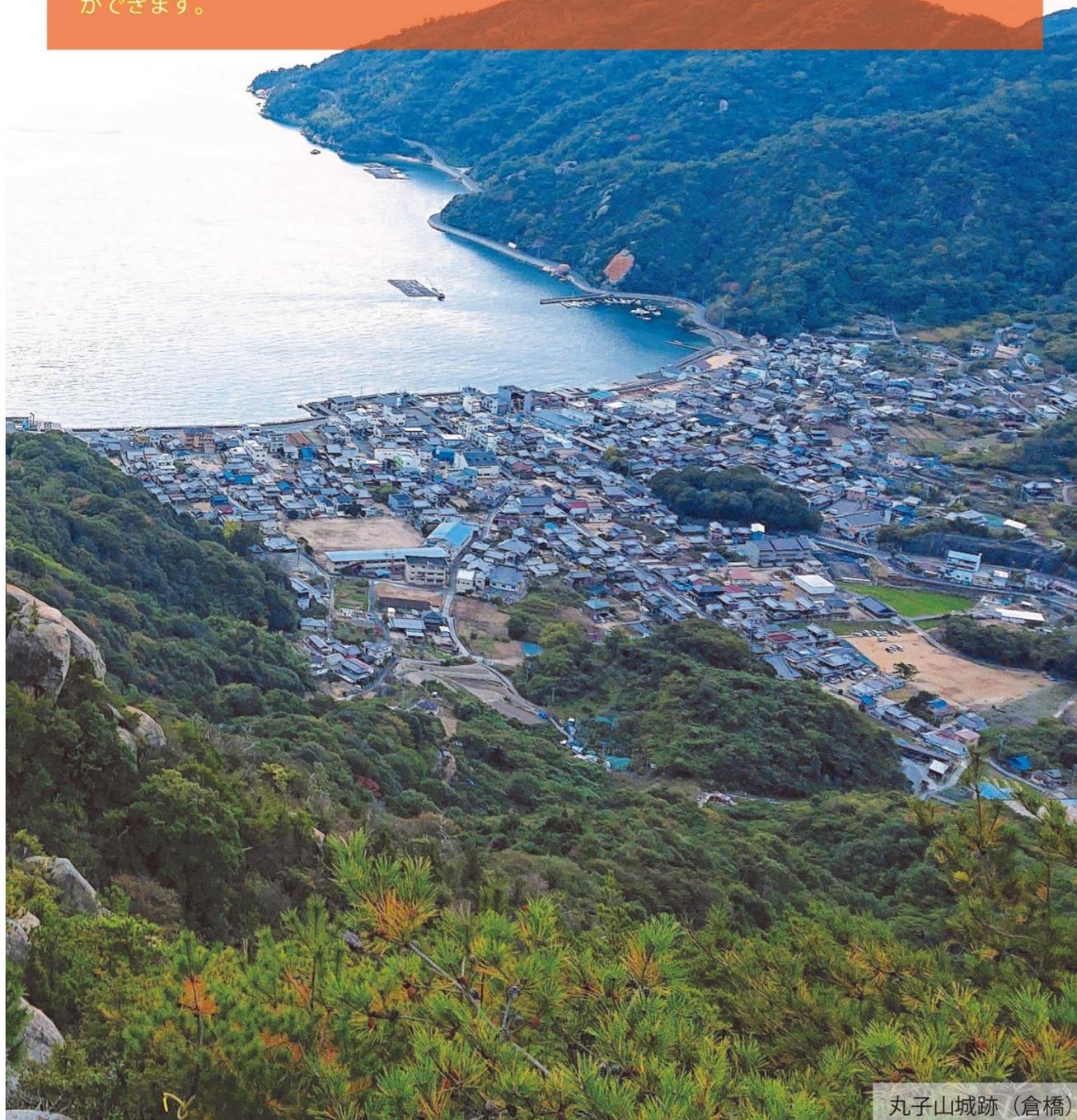
→：検討期間、▨：日常的に実施する事業、■：期間を定めて実施する事業

関連文化財群 ③-1

戦国の争乱により形成された海賊衆の拠点

古代より瀬戸内海海上交通の要衝であった芸予諸島は、中世には、海域を勢力基盤とする海の領主たちが権力を持つようになりました。呉・能美・蒲刈を本拠とする海賊は、「三ヶ島衆」と呼ばれ、大内氏直属の海賊として、各地で転戦しました。

大内氏にとっての瀬戸内西部の制海権の確保は、九州・四国へ渡海攻略する際、さらには瀬戸内海を經由し、上洛するためにも、きわめて重要な役割を果たします。海に面して築かれた山城跡や墓所など、海賊衆の拠点であったことを現在に伝える文化財をみることができます。



丸子山城跡（倉橋）

1 ストーリー

○伊予衆の北上と三ヶ島衆の形成

鎌倉後期、呉をはじめ芸南沿岸島しょ部の諸荘園では、在来の小領主層が、伊予衆と結んで現地支配権を握ろうとする動きが盛んになります。鎌倉幕府倒壊の混乱のなかで、伊予国周敷郡北条郷地頭であった多賀谷氏も、蒲刈・倉橋を支配下におきますが、観応2（1351）年には、忽那衆ら南朝方海賊勢力によって蒲刈島が没収されるなど混乱が続きます。

一方、貞治2（1363）年、安芸国東西条^{とうさいじょう}の領国化に成功した大内氏は、海路、周防と西条との連絡路を確保する必要がありました。応安元（1368）年、大内氏は、伊予への帰還を目指していた河野氏を援助する代償として、占拠していた地域を割譲させ、河野氏によって伊予から放逐された野間・多賀谷・山本らを被官として受け入れました。

呉保とその近隣地域には、山本氏、檜垣氏、警固屋氏らによる「呉衆」という小領主連合が形成されます。

○戦国の争乱と呉衆の活躍

1370年代までには、室町・戦国期の芸南沿岸島しょ部の勢力配置図はほぼ確定し、「呉衆」・多賀谷氏・能美氏は「三ヶ島衆」と呼ばれ、大内水軍の中核として活躍しました。

丸子山城は倉橋多賀谷氏が、丸屋城は蒲刈多賀谷氏の築いた水軍城です。その他にも、和庄杉迫城〔山本氏〕（中央）、竜王山城〔檜垣氏〕（阿賀）、堀城〔警固屋氏〕（警固屋）、吉浦堀城〔野間氏〕（吉浦）、掃部城〔野間氏〕（昭和）、洗足要害（中央）などの城跡が残っています。

○呉衆の解体と小早川氏領国下の呉

呉衆及び野間氏が毛利氏から離反することによって、呉地方の大半は小早川隆景の領地となり、小早川氏の家臣に給与されました。野間氏の勢力下にあった天応地区には、毛利氏に滅ぼされた野間隆則氏の墓や切腹して果てたとされる腹切岩の伝説が残されています。

旧呉衆の生き残りなどは小早川水軍の一部に編制された一方で、「三ヶ島衆」は陶方の白井賢胤指揮下で活動し、各地を転戦します。弘治元（1555）年、倉橋多賀谷氏を支援しようと白井水軍は倉橋島で小早川軍と戦いますが、大敗し滅亡しました。倉橋多賀谷氏の菩提寺である西蓮寺には、多賀谷興頼らの墓が残されています。



丸山山城跡（倉橋）



丸屋城跡（警固屋）



洗足要害（中央）

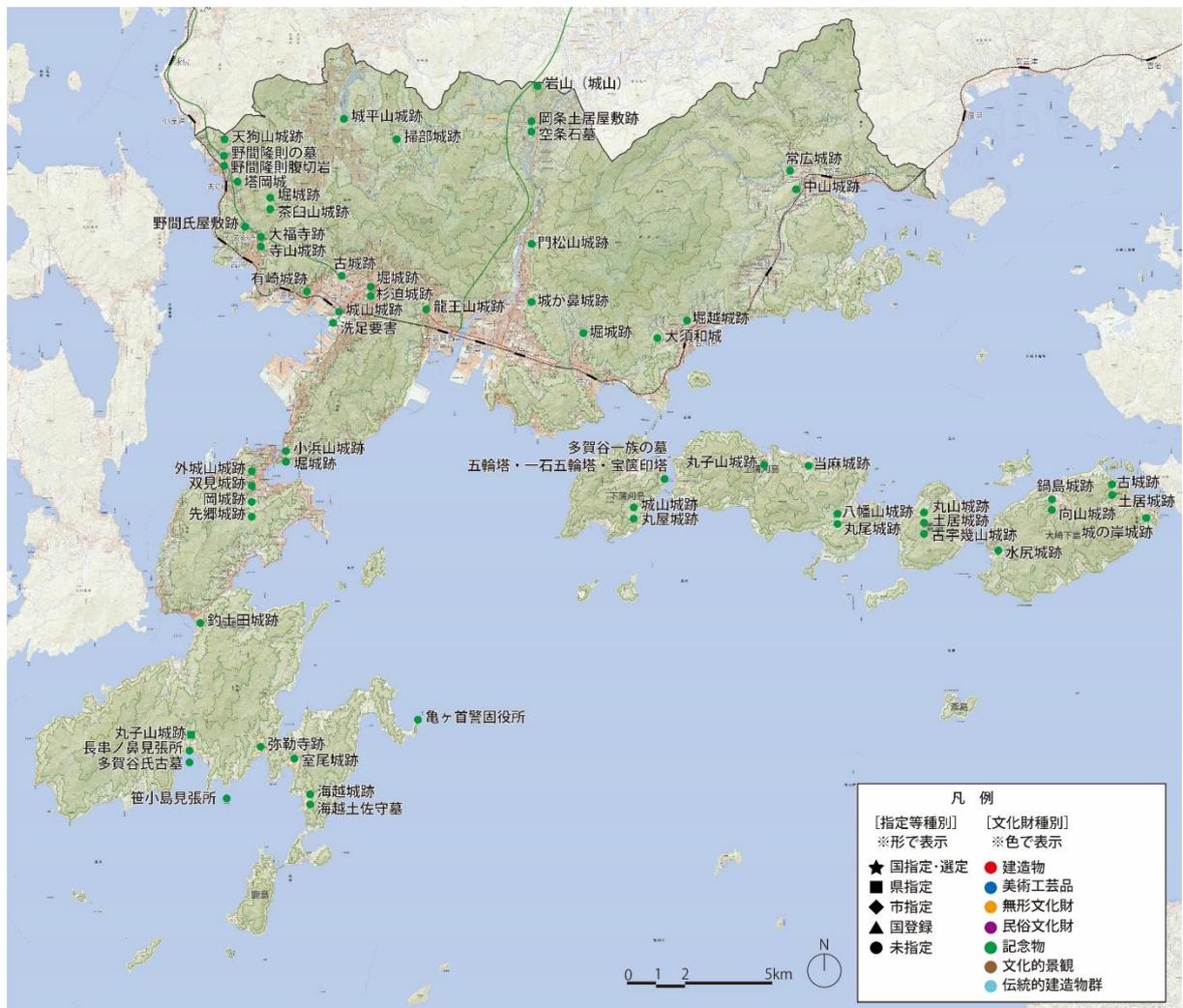
2 構成する文化財

構成文化財の一覧

番号	名称	地区	文化財種別	内容	指定等
1	有崎城跡	中央	記念物（遺跡）	城館跡	
2	古城跡	中央	記念物（遺跡）	城館跡	
3	堀城跡	中央	記念物（遺跡）	城館跡	
4	杉迫城跡	中央	記念物（遺跡）	城館跡	
5	城山城跡	中央	記念物（遺跡）	城館跡	
6	洗足要害	中央	記念物（遺跡）	城館跡	
7	野間氏屋敷跡	吉浦	記念物（遺跡）	城館跡	
8	大福寺跡	吉浦	記念物（遺跡）	寺院跡	
9	堀城跡	吉浦	記念物（遺跡）	城館跡	
10	茶臼山城跡	吉浦	記念物（遺跡）	城館跡	
11	寺山城跡	吉浦	記念物（遺跡）	城館跡	
12	塔岡城跡	天応	記念物（遺跡）	城館跡	
13	天狗山城跡	天応	記念物（遺跡）	城館跡	
14	野間隆則の墓	天応	記念物（遺跡）	墓	
15	野間隆則腹切岩	天応	記念物（名勝地）	伝承地	
16	城平山城跡	昭和	記念物（遺跡）	城館跡	
17	掃部城跡	昭和	記念物（遺跡）	城館跡	
18	岩山（城山）	郷原	記念物（名勝地）	山	市
19	岡条土居屋敷跡	郷原	記念物（遺跡）	城館跡	
20	空条石墓	郷原	記念物（遺跡）	墓	
21	城が鼻城跡	広	記念物（遺跡）	城館跡	
22	門松山城跡	広	記念物（遺跡）	城館跡	
23	龍王山城跡	阿賀	記念物（遺跡）	城館跡	
24	堀城跡	仁方	記念物（遺跡）	城館跡	
25	大須和城	川尻	記念物（遺跡）	城館跡	市
26	堀越城跡	川尻	記念物（遺跡）	城館跡	
27	常広城跡	安浦	記念物（遺跡）	城館跡	
28	中山城跡	安浦	記念物（遺跡）	城館跡	
29	小浜山城跡	警固屋	記念物（遺跡）	城館跡	
30	堀城跡	警固屋	記念物（遺跡）	城館跡	
31	外城山城跡	音戸	記念物（遺跡）	城館跡	
32	双見城跡	音戸	記念物（遺跡）	城館跡	
33	岡城跡	音戸	記念物（遺跡）	城館跡	
34	先郷城跡	音戸	記念物（遺跡）	城館跡	
35	丸子山城跡	倉橋	記念物（遺跡）	城館跡	県
36	弥勒寺跡	倉橋	記念物（遺跡）	寺院跡	
37	釣土田城跡	倉橋	記念物（遺跡）	城館跡	
38	長串ノ鼻見張所	倉橋	記念物（遺跡）	城館跡	
39	笹小島見張所	倉橋	記念物（遺跡）	城館跡	
40	室尾城跡	倉橋	記念物（遺跡）	城館跡	
41	海越城跡	倉橋	記念物（遺跡）	城館跡	
42	多賀谷氏古墓	倉橋	記念物（遺跡）	墓	
43	亀ヶ首警固役所	倉橋	記念物（遺跡）	城館跡	
44	海越土佐守墓	倉橋	記念物（遺跡）	墓地	
45	多賀谷一族の墓 五輪塔・一石五輪塔・宝篋印塔	下蒲刈	記念物（遺跡）	石造物	
46	城山城跡	下蒲刈	記念物（遺跡）	城館跡	
47	丸屋城跡	下蒲刈	記念物（遺跡）	城館跡	
48	丸子山城跡	蒲刈	記念物（遺跡）	城館跡	
49	当麻城跡	蒲刈	記念物（遺跡）	城館跡	
50	八幡山城跡	蒲刈	記念物（遺跡）	城館跡	

第6章 歴史文化の特徴が紡ぐストーリーを楽しもう

番号	名称	地区	文化財種別	内容	指定等
51	丸尾城跡	蒲刈	記念物（遺跡）	城館跡	
52	丸山城跡	豊浜	記念物（遺跡）	城館跡	
53	土居城跡	豊浜	記念物（遺跡）	城館跡	
54	古宇幾山城跡	豊浜	記念物（遺跡）	城館跡	
55	水尻城跡	豊浜	記念物（遺跡）	城館跡	
56	鍋島城跡	豊	記念物（遺跡）	城館跡	
57	向山城跡	豊	記念物（遺跡）	城館跡	
58	古城跡	豊	記念物（遺跡）	城館跡	
59	土居城跡	豊	記念物（遺跡）	城館跡	
60	城の岸城跡	豊	記念物（遺跡）	城館跡	



構成文化財の分布

3 関連する主な取組など

団体名	主な地区等	活動内容
広郷土史研究会	広	広地区における郷土史研究
くらはし観光ボランティアガイドの会	倉橋	倉橋地区における多賀谷氏（丸子山城）を中心とする中世倉橋の普及啓発
広島県自然保護課		山城を含む中国自然歩道の活用

4 現状と課題

- 山城等の中世遺跡から出土した考古資料が、歴史民俗資料館やその他の収蔵施設に分散して収蔵されていますが、台帳整備ができておらず、特徴的な資料の把握や保存・活用を検討するための基礎資料がありません。
- 市史・町史誌においては各地域の遺跡や出土遺物の紹介に留まっており、市域を拠点として活動した海賊衆に関連する山城等の中世遺跡や当時の考古資料の価値づけといった調査研究が行われていません。
- 「広島県中世城館遺跡総合調査報告書」において、県域を対象とする悉皆調査が実施されていますが、蒲刈多賀谷氏の居城であったとされる丸屋城跡などの重要遺跡が抽出されておらず、積極的な測量調査や詳細な遺構調査が実施されていません。
- 市内の山城等の遺跡や出土遺物に関する情報が集約されていないため、関連文化財群の魅力が十分に周知されていません。
- 地域住民や子どもたちが、地域から見つかった遺跡や出土遺物に触れる機会が限られており、関連文化財群に対する関心を高めることができていません。

5 方針と措置

方針 市内の収蔵資料を把握し、台帳を整備します

過去の調査などにより集積された古文書や民俗資料、考古資料等について内容を把握し、台帳を整備します。

→事業 E-1 (2) 市内収蔵資料の台帳整備

方針 歴史文化の特徴や関連文化財群に係る調査研究を推進します

関連文化財群のテーマに沿って実施される市民団体や調査研究機関による調査研究に対して支援を行い、成果を集約していきます。

→事業 E-2 (3) 関連文化財群調査研究支援事業

方針 個別の文化財に関する詳細調査を実施します

現存する中世遺構について指定等の検討や指定後の再評価のため詳細調査を実施します。

→事業 E-3 (4) 詳細文化財調査

方針 文化財に関する情報を集約します

未指定文化財や関連文化財群を含めて情報を集約し、呉市ホームページや文化財ガイドマップをリニューアルして市民に周知します。

→事業 E-4 (21) 文化財情報の集約化事業

方針 学校や地域に対する普及啓発を充実させます

調査研究機関や市民団体と連携し、市内教育機関や地域イベントにおける普及啓発事業を実施します。

→事業 E-5 (22) 学校や地域における普及啓発事業

措置の一覧

事業番号	重点措置	措置	措置の内容	取組主体					事業期間			
				市民	所有者 管理者	調査研 究機関	呉市	前期	中期	後期	第2期	
E-1 (2)		市内収蔵資料の台帳整備	過去の調査などにより集積された古文書や民俗資料、考古資料等について内容を把握し、台帳を整備します。		○	○	◎					
E-2 (3)	★	関連文化財群調査研究支援事業	関連文化財群のテーマに沿って実施される市民団体や調査研究機関による調査研究に対して支援を行い、成果を集約していきます。	◎	◎	◎	◎					
E-3 (4)		詳細文化財調査	現存する中世遺構について指定等の検討や指定後の再評価のための詳細調査を実施します。	○	○	◎	◎					
E-4 (21)		文化財情報の集約化事業	未指定文化財や関連文化財群を含めて情報を集約し、呉市ホームページや文化財ガイドマップをリニューアルして市民に周知します。	○	○	○	◎					
E-5 (22)	★	学校や地域における普及啓発事業	調査研究機関や市民団体と連携し、市内教育機関や地域イベントにおける普及啓発事業を実施します。	○	○	○	◎					

[事業番号] () は第5章と対応

[取組主体] ◎：主体的に取り組む、○：協働で取り組む

[事業期間] 前期：令和6（2024）～8（2026）年、中期：令和9（2027）～10（2028）年、後期：令和11（2029）～12（2030）年、第2期：令和13（2031）年～

→：検討期間、▨：日常的に実施する事業、■：期間を定めて実施する事業

関連文化財群 ③-2

海の往来とともに栄えた産業と町並み

呉市域に含まれる海域は、古代から瀬戸内海の重要な航路でした。倉橋では遣新羅使が停泊した時の歌が万葉集にも載っています。倉橋島の東端に位置する亀ヶ首では和同開珎の枝銭が出土し、航海安全を祈願してお供えをしたものと考えられます。

音戸瀬戸は、平清盛によって開削されたと地元では伝えられています。警固屋は、平清盛が音戸瀬戸を通過する見張り小屋を設置されたことが地名の由来となったともいわれています。また音戸には広島県史跡である伝清盛塚が残されているほか、音戸清盛祭りが開催されるなど地域の歴史として現在まで継承されています。

近世には、中世までの陸に沿った「地乗り」航路に対して、木綿帆により帆走能力が高まり、瀬戸内海の中央部の最短距離に行く「沖乗り」航路が利用され、瀬戸内海の航路の往来はより活性化します。三之瀬は幕府に海駅として指定され、朝鮮通信使も訪れました。御手洗は潮待ち・風待ちの港として、北前船の寄港地となった近代にかけて発展しました。これらの地区には、航路であったことを現在に伝える文化財が多く所在しています。

港町としての発展は、町並みの形成、産業の発展をもたらしました。倉橋の造船などの伝統的技術は現在の造船産業へとつながっています。また、製網などの漁業に関連する産業、柑橘類の栽培、酒造りなどが地場産業として根付きました。



御手洗の町並み (豊)

1 ストーリー

○地場産業と共に栄えた町並み

倉橋島周辺は、古代から瀬戸内海の重要な航路であり、港町での交流を通して各地で地場産業が発展しました。

木造船建造が伝統的な産業として発展し、江戸時代に隆盛を極めました。倉橋地区では、江戸時代以降、厳島神社管弦祭の御座船（倉橋）が建造され奉納されてきました。桂浜乾式ドック跡（倉橋）は18世紀中頃に入江を改修して建造されたものであり、日本最古の乾式船渠といわれています。

沿岸部では、牡蠣の養殖や製網業、島しょ部を中心として柑橘類の栽培などが発達しました。

○潮待ち・風待ちの港町

下蒲刈地区の三之瀬は、江戸時代に、広島藩藩主である福島正則により本陣、番所、茶屋を備えた海駅に指定されました。近世に整備された福島雁木・対馬雁木（下蒲刈）が現在も残っています。朝鮮通信使が寄港した様子は、地域で行われている朝鮮通信使再現行列（下蒲刈）で再現されています。また、瀬戸内海を航行する船団の様子は、朝鮮人来朝覚備前御馳走船行烈図（下蒲刈）から伺うことができます。

豊地区の御手洗は、沖乗り航路の発達とともに、潮待ち・風待ちの港として栄えました。北前船の寄港地となるなど、近代にかけて発展し、往時の町並みが現在も残っています。江戸時代の茶屋や豪商などの地域の繁栄を伝える建物が残っています。元文4（1739）年の本殿、明和元（1764）年の拝殿が残る恵美須神社（豊）は、航海の安全とともに地域の繁栄を願い、正面に船の乗降場として雁木が整備されました。

倉橋島では現在の音戸地区が、地乗り航路により発達しました。芸州隠渡瀬戸細見図には当時の町並みの姿が描かれており、現在も歴史的な町並みが残っています。倉橋地区の鹿老渡は、沖乗り航路の発達とともに、潮待ち・風待ちの港として発展しました。朝鮮通信使も宿泊したと伝えられており、当時の町割りと同本陣としても使用された建物が残っています。



厳島神社管弦祭御座船（倉橋）



宮ノ浜採石場（倉橋）



三之瀬の町並み（下蒲刈）



御手洗の町並み（豊）



音戸の町並み（音戸）

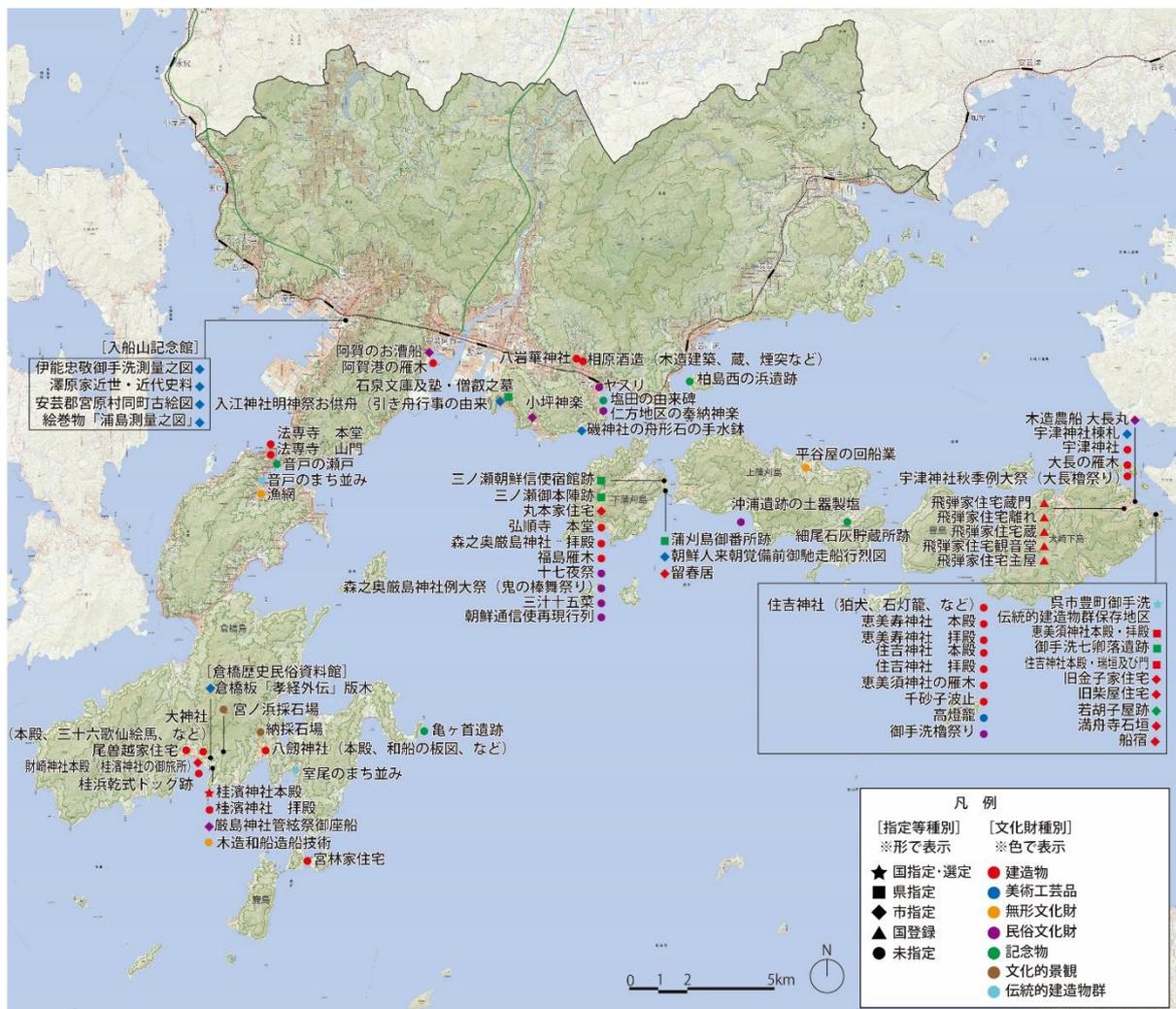
2 構成する文化財

構成文化財の一覧

番号	名称	地区	文化財種別	内容	指定等
1	伊能忠敬御手洗測量之図	中央	有形文化財（美術工芸品）	歴史資料	市
2	澤原家近世・近代史料	中央	有形文化財（美術工芸品）	歴史資料	市
3	安芸郡宮原村同町古絵図	中央	有形文化財（美術工芸品）	歴史資料	市
4	絵巻物「浦島測量之図」	中央	有形文化財（美術工芸品）	歴史資料	市
5	石泉文庫及塾・僧叡之墓	広	記念物（遺跡）	街道跡・施設跡	県
6	入江神明神祭お供舟（引き舟行事の由来）	広	有形文化財（美術工芸品）	工芸品	市
7	小坪神楽	広	無形の民俗文化財	祭礼・行事	市
8	阿賀のお漕船	阿賀	無形文化財	伝統技術	市
9	阿賀港の雁木	阿賀	有形文化財（建造物）	土木構造物	
10	磯神社の舟形石の手水鉢	仁方	有形文化財（美術工芸品）	工芸品	市
11	八岩華神社	仁方	有形文化財（建造物）	神社	
12	相原酒造（木造建築、蔵、煙突など）	仁方	有形文化財（建造物）	近代建築物	
13	ヤスリ	仁方	無形文化財	技術（工業など）	
14	仁方地区の奉納神楽	仁方	無形の民俗文化財	祭礼行事	
15	塩田の由来碑	仁方	記念物（遺跡）	記念碑	
16	法専寺 本堂	音戸	有形文化財（建造物）	寺院	
17	法専寺 山門	音戸	有形文化財（建造物）	寺院	
18	漁網	音戸・阿賀・広	無形文化財	技術（工業など）	
19	音戸の町並み	音戸	歴史的建造物群	町並み	
20	桂濱神社本殿	倉橋	有形文化財（建造物）	神社	国
21	財崎神社本殿（桂濱神社の御旅所）	倉橋	有形文化財（建造物）	神社	市
22	大神社（本殿、三十六歌仙絵馬など）	倉橋	有形文化財（建造物）	神社	
23	八劔神社（本殿、和船の板図など）	倉橋	有形文化財（建造物）	神社	
24	桂濱神社 拝殿	倉橋	有形文化財（建造物）	神社	
25	宮林家住宅	倉橋	有形文化財（建造物）	住宅等	
26	尾曾越家住宅	倉橋	有形文化財（建造物）	住宅等	
27	桂浜乾式ドック跡	倉橋	有形文化財（建造物）	土木構造物	
28	倉橋板「孝経外伝」版木	倉橋	有形文化財（美術工芸品）	工芸品	市
29	厳島神社管絃祭御座船	倉橋	有形の民俗文化財		市
30	木造和船造船技術	倉橋	無形文化財	伝統技術	
31	亀ヶ首遺跡	倉橋	記念物（遺跡）	祭祀遺跡	
32	宮ノ浜採石場	倉橋	文化的景観	採石場	
33	納採石場	倉橋	文化的景観	採石場	
34	室尾の町並み	倉橋	歴史的建造物群	町並み	
35	三ノ瀬朝鮮信使宿館跡	下蒲刈	記念物（遺跡）	街道跡・施設跡	県
36	三ノ瀬御本陣跡	下蒲刈	記念物（遺跡）	街道跡・施設跡	県
37	蒲刈島御番所跡	下蒲刈	記念物（遺跡）	街道跡・施設跡	県
38	留春居	下蒲刈	有形文化財（建造物）	住宅等	市
39	丸本家住宅	下蒲刈	有形文化財（建造物）	住宅等	市
40	朝鮮人來朝覚備前御馳走船行烈図	下蒲刈	有形文化財（美術工芸品）	絵画	市
41	弘順寺 本堂	下蒲刈	有形文化財（建造物）	寺院	
42	森之奥厳島神社 拝殿	下蒲刈	有形文化財（建造物）	神社	
43	福島雁木・対馬雁木	下蒲刈	有形文化財（建造物）	土木構造物	
44	十七夜祭（森之奥厳島神社）	下蒲刈	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
45	森之奥厳島神社例大祭（鬼の棒舞祭り）	下蒲刈	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
46	三汁十五菜	下蒲刈	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
47	朝鮮通信使再現行列	下蒲刈	無形の民俗文化財	祭礼・行事	

第6章 歴史文化の特徴が紡ぐストーリーを楽しもう

番号	名称	地区	文化財種別	内容	指定等
48	細尾石灰貯蔵所跡	蒲刈	有形文化財（建造物）	近代建築物	
49	平谷屋の回船業	蒲刈	無形の民俗文化財	生業	
50	呉市豊町御手洗伝統的建造物群保存地区	豊	伝統的建造物群	町並み	国
51	飛弾家住宅蔵門	豊	有形文化財（建造物）	住宅等	国登録
52	飛弾家住宅離れ	豊	有形文化財（建造物）	住宅等	国登録
53	飛弾家住宅蔵	豊	有形文化財（建造物）	住宅等	国登録
54	飛弾家住宅観音堂	豊	有形文化財（建造物）	住宅等	国登録
55	飛弾家住宅主屋	豊	有形文化財（建造物）	住宅等	国登録
56	住吉神社本殿・瑞垣及び門	豊	有形文化財（建造物）	神社	県
57	恵美須神社本殿・拝殿	豊	有形文化財（建造物）	神社	県
58	御手洗七卿落遺跡	豊	記念物（遺跡）	屋敷跡	県
59	若胡子屋跡	豊	記念物（遺跡）	建造物	県
60	宇津神社棟札	豊	有形文化財（美術工芸品）	工芸品	市
61	旧金子家住宅	豊	有形文化財（建造物）	住宅等	市
62	満舟寺石垣	豊	有形文化財（建造物）	石垣	市
63	船宿	豊	有形文化財（建造物）	住宅等	市
64	旧柴屋住宅	豊	有形文化財（建造物）	住宅等	市
65	木造農船 大長丸	豊	有形の民俗文化財	船舶	市
66	宇津神社	豊	有形文化財（建造物）	神社	
67	住吉神社（狛犬、石灯籠、など）	豊	有形文化財（建造物）	神社	
68	住吉神社 拝殿	豊	有形文化財（建造物）	神社	
69	大長の雁木	豊	有形文化財（建造物）	土木構造物	
70	恵美須神社の雁木	豊	有形文化財（建造物）	土木構造物	
71	千砂子波止	豊	有形文化財（建造物）	土木構造物	
72	高燈籠	豊	有形文化財（美術工芸品）	石造物	
73	宇津神社秋季例大祭（大長櫓祭り）	豊	無形の民俗文化財	祭礼・行事	
74	御手洗櫓祭り	豊	無形の民俗文化財	祭礼・行事	



構成文化財の分布

3 関連する主な取組など

団体名	主な地区等	活動内容
下蒲川観光ガイドの会	下蒲川	三之瀬地区を中心とする観光ガイドの実施
公益財団法人蘭島文化振興財団	下蒲川	松濤園を中心とする三之瀬地区の歴史文化の調査研究・普及啓発
御手洗観光ガイド	豊	御手洗地区を中心とする観光ガイドの実施
重伝建を考える会	豊	伝建地区における保存・活用事業の実施
くらはし観光ボランティアガイドの会	倉橋	倉橋地区を中心とする観光ガイドの実施
一般財団法人倉橋まちづくり公社	倉橋	倉橋歴史民俗資料館、長門の造船歴史館の運営
音戸清盛祭保存会	音戸	清盛伝説に係る大名行列祭りの継承

4 現状と課題

- 音戸地区引地や倉橋地区室尾など、近世～近代の発展を示す歴史的建造物が数多く残されていますが、豊地区御手洗を除いて詳細な町並み調査が実施されていません。
- 倉橋地区本浦で発展した造船業や採石業、豊地区大長で発展した柑橘栽培など、各地域の特徴的な産業や町並みの発展に関する調査研究が十分に行われていません。

- 豊地区御手洗や下蒲刈地区三之瀬など、歴史的な町並みがイベントやクルージングツアーなどの観光資源として積極的に活用されていますが、活用を促進するための周辺環境の整備が十分に行われていません。
- 所有者・管理者が保存・活用を検討している未指定の歴史的建造物について、所有者・管理者の意向を十分に把握できておらず、必要な支援が行われていません。
- 近世～近代の発展を示す各地の産業や町並みに関する情報が集約されていないため、関連文化財群の魅力が十分に周知されていません。
- 地域に残る歴史的な町並みなど、観光資源としても注目されるものですが、文化財としての情報発信媒体が限られており、多様な世代や市外の人に向けた十分な情報発信ができていません。

5 方針と措置

方針 市内全域を対象とした悉皆調査を推進します

音戸地区や倉橋地区などの未把握の地域の歴史的建造物や町並みについて、悉皆調査を実施し、価値を明らかにしていきます。

→事業 F-1 (1) 市内文化財悉皆調査

方針 歴史文化の特徴や関連文化財群に係る調査研究を推進します

関連文化財群のテーマに沿って実施される市民団体や調査研究機関による調査研究に対して支援を行い、成果を集約していきます。

→事業 F-2 (3) 関連文化財群調査研究支援事業

方針 文化財を活用しやすい環境を整えます

御手洗伝統的建造物群保存地区における無電柱化事業や文化財の美装化・多言語化事業を実施します。

→事業 F-3 (15) 文化財環境整備事業

方針 歴史的建造物の活用を支援します

歴史的建造物の保存・活用を推進するため、登録有形文化財の申請に係る調査や申請手続を支援します。

→事業 F-4 (16) 国登録有形文化財推進事業

方針 文化財に関する情報を集約します

未指定文化財や関連文化財群を含めて情報を集約し、呉市ホームページや文化財ガイドマップをリニューアルして市民に周知します。

→事業 F-5 (21) 文化財情報の集約化事業

方針 多様な世代や関心度に対応した情報発信を行います

広く呉市の文化財に関心を持ってもらうため、観光ガイドブックやタウン誌など文化財の情報発信をしていく媒体の拡充を図ります。

→事業 F-6 (24) 情報発信媒体の拡充

措置の一覧

事業番号	重点措置	措置	措置の内容	取組主体					事業期間			
				市民	所有者	管理者	調査研究機関	呉市	前期	中期	後期	第2期
F-1 (1)	★	市内文化財悉皆調査	音戸地区や倉橋地区などの未把握の地域の歴史的建造物や町並みについて、悉皆調査を実施し、価値を明らかにしていきます。	○	○	◎	◎		■	■		
F-2 (3)	★	関連文化財群調査研究支援事業	関連文化財群のテーマに沿って実施される市民団体や調査研究機関による調査研究に対して支援を行い、成果を集約していきます。	◎	◎	◎	◎		■	■	■	■
F-3 (15)		文化財環境整備事業	御手洗伝統的建造物群保存地区における無電柱化事業や文化財の活用を推進するための美装化・多言語化事業を実施します。				◎		■	■		
F-4 (16)		国登録有形文化財推進事業	歴史的建造物の保存・活用を推進するため、登録有形文化財の申請に係る調査や申請手を支援します。		◎	○	◎		■	■	■	■
F-5 (21)		文化財情報の集約化事業	未指定文化財や関連文化財群を含めて情報を集約し、呉市ホームページや文化財ガイドマップをリニューアルして市民に周知します。	○	○	○	◎		■			
F-6 (24)		情報発信媒体の拡充	広く呉市の文化財に関心を持ってもらうため、観光ガイドブックやタウン誌など文化財の情報発信をしていく媒体の拡充を図ります。				◎		■	■	■	■

[事業番号] () は第5章と対応

[取組主体] ◎：主体的に取り組む、○：協働で取り組む

[事業期間] 前期：令和6(2024)～8(2026)年、中期：令和9(2027)～10(2028)年、後期：令和11(2029)～12(2030)年、第2期：令和13(2031)年～

→：検討期間、■：日常的に実施する事業、■：期間を定めて実施する事業

関連文化財群 ④

鎮守府の開庁により近代都市へと変貌を遂げた呉湾

呉地域の村々は、近世以降、次第に漁業やその他の産業を中心として経済的発展を遂げました。

特に現在の幸町の一帯は呉町と呼ばれ、製網生産と鰯漁を中心とする漁業によって発展しました。交易の場であったことより、外村からは「呉市」と呼ばれていました。澤原家は大規模な庄屋であり、現在、住宅および史料が文化財として指定されています。また、村々の人々の暮らしに関わる寺院や祭礼は、現在まで続く歴史文化となっています。

明治22年、呉鎮守府が開庁し、呉港は軍港として整備が進められます。日本最大の海軍工廠が設置され、市街地が急速に発展しました。また、本庄水源地の築造等による水道整備も行われ、近代化が進み、現在のまちの基盤が築かれました。海軍施設は、広の航空廠関連施設や倉橋の亀ヶ首発射場など、広く市域に設置されました。

終戦により海軍は解体されますが、海軍の熟練した技術者が活躍し、海軍工廠の施設も引継がれます。海軍が育んだ技術を継承し、造船、鉄鋼や機械金属を中心とする平和産業港湾都市として復興した呉市は、現在も“ものづくりのまち”として発展しています。



旧呉鎮守府庁舎（中央）

1 ストーリー

○近世の呉浦から軍港都市への変貌

江戸時代、宮原・庄山田・和庄の3つの村を合わせて「呉浦」と呼ばれ、漁業とともに交流の中心となりました。安芸郡宮原村古絵図（中央）には、村高、戸数、人口、家畜、船舶数、産物などが記入されており、当時の様子を知ることができます。庄山田村は、長ノ木街道（中央・昭和）により広島につながる拠点であり、庄屋であった旧澤原家住宅（中央）や文書があります。なお、呉鎮守府の開庁とこれに伴う市街地の形成は、それまでの農業と漁業に中心をおいた呉浦の様相を一変させました。

呉湾一帯を中心に呉海軍工廠が設置され、東洋一と呼ばれるほどの設備を誇りました。また広地区にも、呉海軍工廠広支廠が開設され、後に航空機部が第11海軍航空廠として独立しました。

また、交通施設、電気・水道等のインフラ、医療機関といった都市構造の基盤が形成され、日本の近代化を象徴する鎮守府のまちへと変貌しました。明治22（1889）年、広島県で最も早く呉鎮守府水道が開通し、呉鎮守府の水道の貯水池として大正7（1918）年に完成した本庄水源地堰堤水道施設（昭和）は、現在も利用されています。

○海軍と共に激動する呉の人々の営み

呉鎮守府が開庁したことを契機に、都市構造の基盤の整備のみならず、先端技術をもった技術者が集まりました。イギリス、フランス、アメリカなど先進国から艦艇や兵器を購入するとともに、同国からの技術教育者が派遣され、同国への大学・高等工業学校出身の技術者はもとより、優秀な職員の留学や出張により技術の習得が進むこととなります。そのように海外からもたらされた先進的な技術を一般的な職員へと広げるため、工場内に職工教育機関（職工教習所、技手養成所）が設立されることとなり、海軍技手養成所跡の碑（中央）が残されています。

こうした流れの中で、職員の待遇改善や勤続年数の増加や職員の定住化により、呉市域の人口は急速に増加しました。呉鎮守府が開庁した明治22（1889）年に約2万人だった呉市域の人口は、昭和18（1943）年には約40万人を記録しました。そのため、平地だけでは住宅の確保が間に合わず、山腹に宅地造成が進められ、今日の両城の階段住宅（中央）に見られるような景観が形成されることとなりました。

また、村落から都市へと急速に変貌を遂げた呉には、商売で成功を夢見る人たちが全国



旧呉鎮守府庁舎（海自呉地方
総監部第一庁舎）（中央）



本庄水源地堰堤水道施設（昭和）



昭和町のレンガ倉庫群（中央）

第6章 歴史文化の特徴が紡ぐストーリーを楽しもう

から集まり、次第にまちの賑わいが増していくこととなります。明治40（1907）年までに中央勸商場を始めとして8箇所の勸商場が開設され、商業の近代化が進みました。また、海外への留学や出張からの帰国者がもたらした万年筆は、その後呉市を代表する産業となり、パンやコーヒーなども広く市民に浸透し、独特の洋風文化を形成しました。

さらに、呉鎮守府の開庁によって呉のまちには、呉海軍病院や呉海軍工廠職工共済会病院、海軍共済組合広病院など数多くの病院の設置をもたらし、現在の充実した医療機関の礎が築かれました。

○現在に引き継がれている近代の礎

度重なる空襲や昭和20（1945）年の枕崎台風により大きな被害を受けた呉市は、進駐軍の撤退やGHQによる財政引き締めにより不況が進み、昭和25（1950）年には失業者が1万人を超える状態になりました。こうした苦境を打開する方策として、呉・横須賀・佐世保・舞鶴の旧軍港四市の協力により「旧軍港市転換法」が公布されます。



旧海軍工廠造船渠大屋根（中央）

旧呉海軍工廠跡に、日亜製鋼、淀川製鋼所、日立製作所などが進出し、第11海軍航空工廠跡には東洋パルプや広造機、寿工業などが進出しました。

呉に進出した多くの企業は、海軍工廠時代に培った高度な技術や施設を活用し、造船を始めボイラーやタービンなどの製造、製鋼や鋳物など様々な分野で活躍し、呉の復興に大きく貢献しました。

2 構成する文化財

構成文化財の一覧

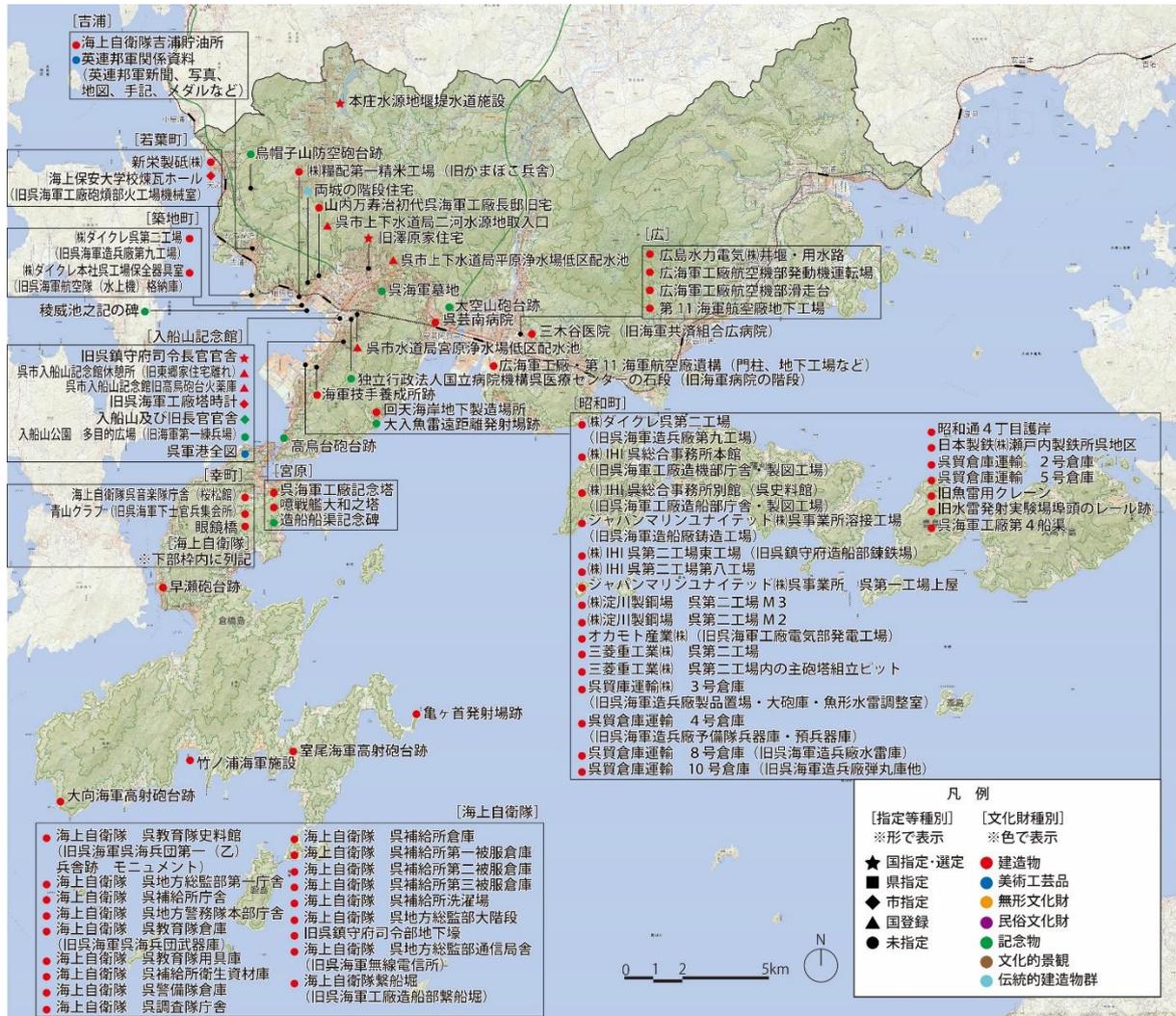
番号	名称	地区	文化財種別	内容	指定等
1	旧澤原家住宅	中央	有形文化財（建造物）	住宅	国
2	旧呉鎮守府司令長官官舎	中央	有形文化財（建造物）	近代建築物	国
3	呉市上下水道局平原浄水場低区配水池	中央	有形文化財（建造物）	近代建築物	国登録
4	呉市上下水道局二河水源地取入口	中央	有形文化財（建造物）	近代建築物	国登録
5	呉市入船山記念館休憩所（旧東郷家住宅離れ）	中央	有形文化財（建造物）	近代建築物	国登録
6	呉市入船山記念館旧高鳥砲台火薬庫	中央	有形文化財（建造物）	近代建築物	国登録
7	旧呉海軍工廠塔時計	中央	有形文化財（建造物）	近代建築物	市
8	入船山及び旧長官官舎	中央	記念物（遺跡）	史跡	市
9	旧桜松館（海上自衛隊呉音楽隊庁舎）	中央	有形文化財（建造物）	近代建築物	
10	(株)ダイクレ呉第二工場垂鉛メッキ工場（旧呉海軍造船兵廠第九工場）	中央	有形文化財（建造物）	近代建築物	日本遺産
11	(株)IHI 呉総合事務所本館（旧呉海軍工廠造機部庁舎・製図工場）	中央	有形文化財（建造物）	近代建築物	
12	(株)IHI 呉総合事務所別館（呉史料館）（旧呉海軍工廠造船部庁舎・製図工場）	中央	有形文化財（建造物）	近代建築物	
13	ジャパンマリンユナイテッド(株)呉事業所溶接工場（旧呉海軍造船廠鑄造工場）	中央	有形文化財（建造物）	近代建築物	

第6章 歴史文化の特徴が紡ぐストーリーを楽しもう

番号	名称	地区	文化財種別	内容	指定等
14	(株)IHI 呉第二工場東工場 (旧呉鎮守府造船部鍊鉄場)	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
15	(株)IHI 呉第二工場第八工場	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
16	ジャパンマリンユナイテッド(株)呉事業所 呉第一工場上屋	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
17	(株)淀川製鋼所 呉第二工場 M3	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
18	(株)淀川製鋼所 呉第二工場 M2	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
19	オカモト産業(株) (旧呉海軍工廠電気部発電工場)	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
20	三菱重工業(株) 呉第二工場	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
21	三菱重工業(株) 呉第二工場内の主砲塔組立ピット	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
22	呉貿倉庫運輸(株) 2号倉庫	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
23	呉貿倉庫運輸(株) 3号倉庫 (旧呉海軍造兵廠製品置場・大砲庫・魚形水雷調整室)	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
24	呉貿倉庫運輸(株) 4号倉庫 (旧呉海軍造兵廠予備隊兵器庫・預兵器庫)	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
25	呉貿倉庫運輸(株) 5号倉庫	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
26	呉貿倉庫運輸(株) 8号倉庫 (旧呉海軍造兵廠水雷庫)	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
27	呉貿倉庫運輸(株) 10号倉庫 (旧呉海軍造兵廠弾丸庫他)	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
28	海上自衛隊 呉教育隊史料館 (旧呉海軍呉海兵団第一(乙)兵舎跡 モニュメント)	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
29	海上自衛隊 呉地方総監部第一庁舎	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
30	海上自衛隊 呉補給所庁舎	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
31	海上自衛隊 呉地方警務隊本部庁舎	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
32	海上自衛隊 呉教育隊倉庫 (旧呉海軍呉海兵団武器庫)	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
33	海上自衛隊 呉教育隊用具庫	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
34	海上自衛隊 呉補給所衛生資材庫	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
35	海上自衛隊 呉警備隊倉庫	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
36	海上自衛隊 呉調査隊庁舎	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
37	海上自衛隊 呉補給所倉庫	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
38	海上自衛隊 呉補給所第一被服倉庫	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
39	海上自衛隊 呉補給所第二被服倉庫	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
40	海上自衛隊 呉補給所第三被服倉庫	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
41	海上自衛隊 呉補給所洗濯場	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
42	海上自衛隊 呉地方総監部大階段	中央	有形文化財 (建造物)	石造物	
43	旧呉鎮守府司令部地下壕	中央	有形文化財 (建造物)	土木構造物	
44	青山クラブ (旧呉海軍下士官兵集会所)	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
45	海上自衛隊 呉地方総監部通信局舎 (旧呉海軍無線電信所)	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
46	山内万寿治初代呉海軍工廠長邸旧宅 (現・三宅清兵衛氏邸)	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
47	(株)糧配第一精米工場 (旧かまぼこ兵舎)	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
48	日本製鉄(株)瀬戸内製鉄所呉地区	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
49	(株)ダイクレ本社呉工場保全器具室 (旧呉海軍航空隊 (水上機) 格納庫)	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
50	旧魚雷用クレーン	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
51	海軍技手養成所跡	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
52	新栄製砥(株)	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	
53	呉海軍工廠第4船渠	中央	有形文化財 (建造物)	近代建築物	

第6章 歴史文化の特徴が紡ぐストーリーを楽しもう

番号	名称	地区	文化財種別	内容	指定等
54	呉軍港全図	中央	有形文化財（建造物）	近代建築物	
55	昭和通4丁目護岸 旧水雷発射実験場埠頭のレール跡	中央	有形文化財（建造物）	土木構造物	
56	眼鏡橋	中央	有形文化財（建造物）	土木構造物	
57	入船山公園 多目的広場（旧海軍第一練兵場）	中央	記念物（遺跡）	海軍・戦争跡	
58	海上自衛隊繋船堀（旧呉海軍工廠造船部繋船堀）	中央	記念物（遺跡）	海軍・戦争跡	
59	稜威池之記の碑	中央	記念物（遺跡）	記念碑	
60	呉海軍墓地	中央	記念物（遺跡）	墓所	
61	両城の階段住宅	中央	文化的景観	町並み景観	
62	呉海軍工廠記念塔	宮原	有形文化財（建造物）	石造物	
63	噫戦艦大和之塔	宮原	有形文化財（建造物）	石造物	
64	独立行政法人国立病院機構呉医療センターの石段（旧海軍病院の階段）	宮原	記念物（遺跡）	石造物	
65	造船船渠記念碑	宮原	記念物（遺跡）	記念碑	
66	海上保安大学校煉瓦ホール（旧呉海軍工廠砲熷部火工場機械室）	吉浦	有形文化財（建造物）	近代建築物	市
67	本庄水源地堰堤水道施設	昭和	有形文化財（建造物）	近代建築物	国
68	広海軍工廠・第11海軍航空廠遺構（門柱、地下工場など）	広	有形文化財（建造物）	近代建築物	
69	三木谷医院（旧海軍共済組合広病院）	広	有形文化財（建造物）	近代建築物	
70	広島水力電気(株)井堰・用水路	広	有形文化財（建造物）	近代建築物	
71	広海軍工廠航空機部発動機運転場	広	有形文化財（建造物）	近代建築物	
72	第11海軍航空廠地下工場	広	有形文化財（建造物）	近代建築物	
73	広海軍工廠航空機部滑走台	広	記念物（遺跡）	海軍・戦争跡	
74	大空山砲台跡	阿賀・広	記念物（遺跡）	近代建築物	日本遺産
75	呉芸南病院	阿賀	有形文化財（建造物）	近代建築物	
76	回天海岸地下製造場所	阿賀	有形文化財（建造物）	近代建築物	
77	大入魚雷遠距離発射場跡	阿賀	記念物（遺跡）	海軍・戦争跡	
78	呉市水道局宮原浄水場低区配水池	宮原	有形文化財（建造物）	土木構造物	国登録
79	高島台砲台跡	警固屋	記念物（遺跡）	近代建築物	日本遺産
80	早瀬砲台跡	音戸	有形文化財（建造物）	近代建築物	
81	大向海軍高射砲台跡	倉橋	有形文化財（建造物）	近代建築物	
82	室尾海軍高射砲台跡	倉橋	有形文化財（建造物）	近代建築物	
83	竹ノ浦海軍施設	倉橋	有形文化財（建造物）	近代建築物	
84	亀ヶ首発射場跡	倉橋	記念物（遺跡）	海軍遺構	
85	海上自衛隊吉浦貯油所	吉浦	有形文化財（建造物）	近代建築物	
86	英連邦軍関係資料（英連邦軍新聞、写真、地図、手記、メダルなど）	吉浦	有形文化財（美術工芸品）	歴史資料	
87	烏帽子山防空砲台跡	天応	記念物（遺跡）	近代建築物	



構成文化財の分布

3 関連する主な取組など

団体名	主な地区等	活動内容
呉市海事歴史科学館学芸課	中央	呉市海事歴史科学館を中心とする近代史の調査研究・普及啓発
呉市上下水道局		近代水道施設に係る施設の保存・活用
海上自衛隊呉地方総監部		敷地内の海軍関連施設の維持管理・普及啓発
呉湾一帯の民間企業		敷地内の海軍関連施設の維持管理・普及啓発
呉観光ボランティアの会	中央	中央地区を中心とする観光ガイドの実施
広郷土史研究会	広	広地区を中心とする郷土史研究
在日米陸軍基地管理本部		米軍基地内の海軍関連施設の維持管理
NPO 法人ぐるぐる海友舎プロジェクト実行委員会	江田島市	海友舎の保存・活用、江田島市における近代史の普及啓発
一般財団法人呉YWCA	中央	呉YWCAの保存・活用
海上保安大学校	中央	煉瓦ホール等の保存

4 現状と課題

- 広島県近代化遺産総合調査が実施されていますが、旧呉海軍に関連する戦争遺跡や歴史的建造物、当時稼働していた機械工作物など、近代呉市の発展を物語る文化財について広く把握するための調査が行われていません。
- 構成文化財の多くは未指定文化財のまま残されており、老朽化や開発事業の対象地となるなど消滅の危機に直面していますが、重要な文化財の抽出や詳細調査に基づく保存・活用の検討が行われていません。
- 構成文化財の多くは旧呉海軍に関連するものであることから、呉湾一帯に集中しているものの、交通の利便性や民有地内に位置することなどから、十分に活用されていません。また呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）を核とする一帯の文化財の活用が検討できていません。
- 旧呉海軍に関連する近代化遺産や当時の生活文化などに関する情報が集約されていないため、関連文化財群の魅力が十分に周知されていません。

5 方針と措置

方針 市内全域を対象とした悉皆調査を推進します

近代化遺産や戦争遺跡、機械工作物などの未把握の分野の文化財について悉皆調査を実施し、価値を明らかにしていきます。

→事業 G-1 (1) 市内文化財悉皆調査

方針 個別の文化財に関する詳細調査を実施します

市内の特徴的な文化財について、指定等の検討や指定後の再評価のための詳細調査を実施します。

→事業 G-2 (4) 文化財詳細調査

方針 文化財を活用しやすい環境を整えます

文化財が集中する呉湾一帯の文化財を活用するための環境整備を行います。

→事業 G-3 (15) 文化財環境整備事業

方針 文化財に関する情報を集約します

未指定文化財や関連文化財群を含めて情報を集約し、呉市ホームページや文化財ガイドマップをリニューアルして市民に周知します。

→事業 G-4 (21) 文化財情報の集約化事業

措置の一覧

事業番号	重点措置	措置	措置の内容	取組主体					事業期間			
				市民	所有者	管理者	調査研究機関	呉市	前期	中期	後期	第2期
G-1 (1)	★	市内文化財悉皆調査	近代化遺産や戦争遺跡、機械工作物などの未把握の分野の文化財について悉皆調査を実施し、価値を明らかにしていきます。	○	○	◎	◎		■	■	■	
G-2 (4)		詳細文化財調査	市内の特徴的な文化財について、指定等の検討や指定後の再評価のための詳細調査を実施します。	○	○	◎	◎		▨	▨	▨	▨
G-3 (15)		文化財環境整備事業	文化財が集中する呉湾一帯の文化財を活用するための環境整備を行います。				◎		■	■	■	
G-4 (21)		文化財情報の集約化事業	未指定文化財や関連文化財群を含めて情報を集約し、呉市ホームページや文化財ガイドマップをリニューアルして市民に周知します。	○	○	○	◎		■			

[事業番号] () は第5章と対応

[取組主体] ◎：主体的に取り組む、○：協働で取り組む

[事業期間] 前期：令和6（2024）～8（2026）年、中期：令和9（2027）～10（2028）年、後期：令和11（2029）～12（2030）年、第2期：令和13（2031）年～

→：検討期間、▨：日常的に実施する事業、■：期間を定めて実施する事業

3 関連文化財群と地区ごとの文化財の対応

歴史文化 の特徴	① 歴史文化を育む 美しく豊かな自然		② 海とともにある暮らし	
	海と島と山が織りな す絶景	海の恵みを求め根付 いた原始の営み	山野河海を拓き獲 得してきた大地の 恵み	海に祈る多彩な信仰と 地域に根付いた暮らし
1 中央地区	二河峡、二河川、灰ヶ 峰、両城の階段住宅		二河（上・下）井手	亀山神社例大祭、萬年寺大祭 火渡り修行、鯛乃宮神社例大 祭、平原神社秋季例大祭、貴 船（龍王）神社例大祭、二河 峡の十一面観音菩薩伝説、乙 女椿伝説
2 宮原地区			長渠の碑	八咫鳥神社例大祭、乙女椿伝 説、八咫鳥伝説
3 吉浦地区	鳥帽子岩、吉浦八幡神社 の社叢	本町貝塚、本町遺跡、中 ノ島遺跡、三ツ石遺跡、 池浜古墳、古迫積石塚、 大江遺跡		吉浦八幡神社例大祭
4 警固屋地区				宇佐神社秋季祭礼、飛び降り 観音、平清盛伝説、宇佐神社 祭礼
5 阿賀地区	大空山、冠崎のヤマモ モ、神田神社の社叢、阿 賀のサルスベリ	情島旧石器時代遺跡、情 島火の釜古墳群	豊栄新開の碑、阿賀港 の雁木	阿賀の漕船祭、神田神社例大 祭、お浦と治作、弘法大師八 十八ヵ所地蔵めぐり、神立の 火渡り、松尾神社祭礼
6 広地区	二級滝、白糸の滝、白糸 の滝の溶結凝灰岩、広青 年教育センターの蘇鉄、 広小坪の褶曲と断層、大 空山、船津神社の社叢	芦冠遺跡	岩樋水門跡、広邑新墾 碑、旧黒瀬街道の石 畳、弥生新開、膺懲 碑、段々畑の石垣	入り江神社明神祭りお供舟 （引き舟行事の由来）、小坪神 楽、初崎神社例夫祭、大歳神 社例大祭、船津神社例大祭、 入江神社例大祭、小滝恵現寺 観音伝説、芦冠遺跡
7 仁方地区	八岩華神社のクスノキ、 磯神社のウバメガシの群 叢、女猫の瀬戸		仁方塩田の由来碑	磯神社の舟形石の手水鉢、仁 方の權踊り、仁方地区子ども 相撲大会、仁方地区の奉納神 楽、八岩華神社大祭、新宮神 社大祭、恵比須神社祭
8 天応地区	深山の滝、鳥帽子岩山、 田中八幡神社のフジノ キ、田中八幡神社の社叢			田中八幡神社例大祭
9 昭和地区	二河川、深山の滝、多賀 雄神社の社叢、灰ヶ峰、 八畳岩、高尾神社のフジ ノキ、高尾神社の社叢、 五連山	小田1号貝塚、泉遺跡、 竜が畝遺跡、一ノ瀬遺 跡、荒時峠遺跡、仲間が 原遺跡、貝吹原遺跡、神 山遺跡、戸石山遺跡、小 菅遺跡、平小菅遺跡		多賀雄神社秋季大祭、高尾神 社例祭、盆踊りのくどき・太 鼓、多賀雄神社夏越祭、堂さ ん祭り、いぼ神さん祭り、観 音さん祭り、亥の子まつり、 虚空蔵堂、竹内神社秋季大祭

歴史文化の特徴	③ 瀬戸内海航路の結節点		④ 海軍の軍事拠点
関連文化財群	戦国の争乱により形成された海賊衆の拠点	海の往来とともに栄えた産業と町並み	鎮守府の開庁により近代都市へと変貌を遂げた呉湾
1 中央地区	有崎城跡、古城跡、堀城跡、杉迫城跡、城山城跡、洗足要害	伊能忠敬御手洗測量之図、澤原家近世・近代史料、安芸郡宮原村同町古絵図、絵巻物「浦島測量之図」	旧澤原家住宅、旧呉鎮守府司令長官官舎、呉市水道局平原浄水場低区配水池、呉市水道局二港水源地取入口、呉市入船山記念館休憩所（旧東郷家住宅離れ）、呉市入船山記念館旧高島砲台火薬庫、旧呉海軍工廠塔時計、入船山及び旧長官官舎、旧呉鎮守府関連施設群、旧呉海軍工廠関連施設群、両城の階段住宅
2 宮原地区			呉市水道局宮原浄水場低区配水池、独立行政法人国立病院機構呉医療センターの石段、呉海軍工廠記念塔、鳴戦艦大和之塔、造船船渠記念碑
3 吉浦地区	野間氏屋敷跡、大福寺跡、堀城跡、茶臼山城、寺山城跡		旧呉海軍工廠砲煩部火工場機械室（海上保安大学校煉瓦ホール）、海上自衛隊吉浦貯油所、英連邦軍関係資料
4 警固屋地区	小浜山城跡、堀城跡		高島砲台跡
5 阿賀地区	龍王山城跡	阿賀のお漕船、阿賀港の雁木、漁網	大空山砲台跡、呉芸南病院、回天海岸地下製造場所、大入魚雷発射試験場、
6 広地区	城が鼻城跡、門松山城跡	石泉文庫及塾・僧叡之墓、入江神社明神祭お供舟（引き舟行事の由来）、小坪神楽、漁網	広海軍工廠・第11回軍航空廠遺構（門柱・地下工場など）、三木谷医院（旧海軍共済組合広病院）、広水力電気（株）井堰・用水路、広海軍工廠航空機部発動機運転場、広海軍工廠航空機部滑走台、第11回軍航空廠地下工場、大空山砲台跡
7 仁方地区	堀場跡	磯神社の舟形石の手水鉢、八岩華神社、相原酒造、ヤスリ、塩田の由来碑、仁方地区の奉納神楽、	
8 天応地区	塔岡城跡、天狗山城跡、野間隆則の墓、野間隆則切腹岩		烏帽子山防空砲台跡
9 昭和地区	城平山跡、掃部城跡、古塁		本庄水源地堰堤水道施設

第6章 歴史文化の特徴が紡ぐストーリーを楽しもう

歴史文化の特徴	歴史文化を育む 険しく豊かな自然	海とともにある暮らし		
関連文化財群	海と島と山が織りなす絶景	海の恵みを求め根付いた原始の営み	山野河海を拓き獲得してきた大地の恵み	海に祈る多彩な信仰と地域に根付いた暮らし
10 郷原地区	灰ヶ峰、二級峡、銭神石、郷原のブチサンショウウオ、郷原町のエノキ、新堂平神社の社叢、新堂平神社のシイノキ	郷原遺跡、郷原保育園遺跡、火神嶽古墳	旧黒瀬街道の石畳、野呂山開拓之碑	銭神岩、新堂平神社例大祭、仏生滝伝説、郷原の奴踊り
11 下蒲刈地区	女猫の瀬戸			十七夜祭、森之奥巖島神社例大祭（鬼の棒舞祭り）、三汁十五菜、塩づくり（姫ひじきの塩）、梅崎神社祭礼、渡郷八幡神社祭礼、住吉神社春祭り、春日神社秋祭り
12 川尻地区	野呂山、野呂山岩海、楠の大木、川尻のソテツ、女猫の瀬戸	柏島西の浜遺跡		堀越祇園社祇園祭
13 音戸地区	音戸瀬戸、大浦崎自然海浜保全地区	高須貝塚、波多見第1号古墳、波多見第2号古墳、天満第1号古墳、赤崎古墳、桐の木古墳	伝清盛塚	音戸の舟唄、音戸清盛祭、お浦と治作、平清盛伝説、八幡山神社例大祭
14 倉橋地区	火山、万葉集遺跡長門島松原、宮ノ浜採石場、須之浦自然海浜保全地区、倉橋のカムリウミスズメ	海底出土動物骨化石、トロブ遺跡、岩屋古墳、横挽第1号古墳、横挽第2号古墳、飛呂井古墳群、鍛冶田谷古墳、細田古墳、白浦古墳、丸岩第1号古墳、丸岩第2号古墳、矢尻古墳、瀬戸第1号古墳、室ノ浦古墳、亀ヶ首遺跡、岩畔遺跡、藻浦遺跡、尻郷遺跡、横島遺跡	鹿島の段々畑	巖島神社管弦祭御座船、八十八ヶ所巡礼、桂濱神社大祭、室尾新宮社大祭、八剱神社例大祭、亀ヶ首遺跡
15 蒲刈地区	恋湾と恋ヶ浜、桂の滝、七国見山	石皿、石斧、石さじ、石刃、すり石、丸尾遺跡、天頭山1号遺跡、向小浜遺跡、十年遺跡、宮盛小浜遺跡、名川遺跡、しんこうじ遺跡、原遺跡、殿垣内遺跡、中神遺跡地点、前沖浦遺跡、大巻平遺跡、沖浦遺跡、峠古墳、天頭山2号遺跡		遍路装束、盃状穴、日高神社例祭・神輿渡御式、春日神社秋の大祭、モミヒキ唄、産育
16 安浦地区	野呂山、三津口湾の景観、黒地の浜地層（紅柱石）、市原観音堂菩提樹、朶平神社の山桃、亀山八幡神社の社叢、七浦・中小島自然海浜保全地区	金箱第1号古墳、金箱第2号古墳	野呂山開拓碑、安浦の棚田、猪鹿垣	野呂山伊音城 弘法寺岩屋八十八ヶ所、野呂山伊音城 弘法寺岩屋、三津口八十八ヶ所、柏島神社例大祭、神山神社例大祭、森神社例大祭、弘法寺柴燈護摩供火渡り、稚児の明神伝説、神様のけんか、堂前神社の祭礼、朶平神社の祭礼、十夜、勘定神社祭礼
17 豊浜地区	アビ渡来群遊海面、豊浜のホルトノキ群叢、大岐神社のムク	長砂古墳、黄幡第1号古墳、黄幡第2号古墳、黄幡第3号古墳、黄幡第4号古墳、水尻遺跡		弓射り祭り、室原神社例大祭、十七夜明神祭り、えびす祭り、内浦祭り
18 豊地区	宇津神社のホルトノキ	三角島第1古墳、三角島第2古墳、南安土遺跡、大高山遺跡	木造農船大長丸、石段畑、大長北雁木	初祭百手神事（大長弓祭り）、宇津神社秋季例大祭（大長櫓祭り）、御手洗櫓祭り、おはぐろ伝説、菅公御手洗の井戸伝説

歴史文化の特徴	瀬戸内海航路の結節点		海軍の軍事拠点
関連文化財群	戦国の争乱により形成された海賊衆の拠点	海の往来とともに栄えた産業と町並み	鎮守府の開庁により近代都市へと変貌を遂げた呉湾
10 郷原地区	岩山（城山）、岡条土井屋敷跡、空条石墓		
11 下蒲刈地区	多賀谷一族の墓（五輪塔・一石五輪塔・宝篋印塔）、城山城跡、丸屋城跡	三ノ瀬朝鮮信使宿館跡、三ノ瀬御本陣跡、蒲刈島御番所跡、朝鮮人來朝覚備前御馳走船行烈図、留春居、丸本家住宅、弘法寺本堂、森之奥巖島神社拝殿、福島雁木、十七夜祭、森之奥巖島神社例大祭（鬼の棒舞祭り）、三汁十五菜、朝鮮通信使再現行列	
12 川尻地区	大須和城、堀越城跡、		
13 音戸地区	外城山城跡、双見城跡、岡城跡、先郷城跡	法専寺本堂、法専寺山門、漁網、音戸の町並み	早瀬砲台跡、コンクリート船の防波堤
14 倉橋地区	丸子山城跡、弥勒寺跡、釣土田城跡、長串ノ鼻見張所、笹小島見張所、室尾城跡、海越城跡、多賀谷氏古墓、亀ヶ首警固役所、海越土佐守墓	桂濱神社本殿、財崎神社本殿（桂濱神社の御旅所）、倉橋板「孝経外伝」版木、巖島管弦祭御座船、大神社本殿、八咫神社本殿、桂浜神社拝殿、桂浜神社拝殿、宮林家住宅、尾曾越家住宅、桂浜乾式ドッグ跡、木造和船技術、亀ヶ首遺跡、宮ノ浜採石場、納採石場、室尾の町並み	大向海軍高射砲台跡、室尾海軍高射砲台跡、竹ノ浦海軍施設、亀ヶ首発射場
15 蒲刈地区	丸子山城跡、当麻城跡、八幡山城跡、丸尾城跡	細尾石灰貯蔵所跡、平谷屋の廻船業	
16 安浦地区	常広城跡、中山城跡		コンクリート船の防波堤（武智丸）
17 豊浜地区	丸山城跡、土居城跡、古宇幾山城跡、水尻城跡		
18 豊地区	鍋島城跡、向山城跡、古城跡、土居城跡、城の岸城跡	呉市豊町御手洗伝統的建造物群保存地区、飛騨家住宅、住吉神社本殿・瑞垣及び門、恵美須神社本殿・拝殿、御手洗七卿落遺跡、若胡子屋跡、宇津神社棟札、旧金子家住宅、満舟寺石垣、船宿、旧柴屋住宅、木造農船大長丸、宇津神社、住吉神社（狛犬、石灯籠など）、住吉神社拝殿、大長の雁木、恵美須神社の雁木、千砂子波止、高灯籠、宇津神社秋季例大祭（大長櫓祭り）、御手洗祭り	

